

| | | | |
|-------------------|--|-----|--------|
| 授業科目 | 憲法学 | 単位数 | 講義 2単位 |
| 担当教員 | 山本 敬生 | | |
| 教員略歴 | 慶応義塾大学大学院後期博士課程法学研究科退学 法学修士 志学館大学、鹿児島国際大学、鹿児島大学非常勤講師、現在鹿児島県立大学商経学科准教授 | | |
| 授業目標 | 憲法は「統治機構」と「人権」の二つの部分からなる。この二つは相互に密に結びついている。すなわち、憲法は国民の人権を保障することに主眼があり、そのために権力分立を基本とする統治機構が作られているのであり、権力分立に基づく統治機構は人権保障に奉仕する。国家権力の濫用が防止され、国民の権利・自由が保障されることで、「人間の尊厳」が保障される。さらに、憲法は国家という基礎の上に成立し、平和が保障された状況で初めて機能する。憲法が我々の生活にどうかかわってくるのかを理解することが、この授業のテーマである。 | | |
| 授業内容 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 憲法と立憲主義・日本憲法史 2. 日本国憲法の構成と基本原理 3. 基本的人権の保障・包括的基本権と法の下での平等 4. 精神的自由権 5. 身体的自由権 6. 経済的自由権 7. 社会権 8. 参政権と国務請求権 9. 統治機構の基本原理 10. 国会と立法権 11. 内閣と行政権 12. 裁判所と司法権 13. 財政 14. 地方自治 15. 憲法改正 | | |
| 教材にかかわる情報 | 「憲法」豊岡短期大学テキスト ポケット六法・デイリー六法・コンサイス六法 | | |
| 評価にかかわる情報 | | | |
| 実務経験のある教員による実践的授業 | | | |

| | | | |
|-------------------|--|-----|-------|
| 授業科目 | 情報処理演習 | 単位数 | 演習1単位 |
| 担当教員 | 海田 孝志 | | |
| 教員略歴 | 第一工業大学工学部電子工学科卒業 鹿児島県立川内商工高等学校期限付き教諭を経て神村学園高等部常勤教諭 中学校教諭一種免許技術、高等学校教諭一種工業・情報 | | |
| 授業目標 | 情報システムの発展と役割について理解を深め、これからの情報社会を生きる上で必要となる基礎知識と技術を身に付けます。 | | |
| 授業内容 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 情報化社会 2. コンピュータの発展 3. ハードウェア 4. ソフトウェア 5. 情報ネットワーク 6. インターネット 7. 情報システムの課題 8. windows の基礎操作 9. 文章作成の基礎① 10. 文章作成の基礎② 11. 文章作成の基礎③ 12. 表計算の基礎① 13. 表計算の基礎② 14. 表計算の基礎③ 15. プレゼンテーション | | |
| 教材にかかわる情報 | 「情報リテラシーと処理技術」豊岡短期大学配本テキスト 「情報セキュリティ10大脅威2018」 | | |
| 評価にかかわる情報 | 学習状況:レポート課題において専門知識の理解、獲得及び思考表現により評価 | | |
| 実務経験のある教員による実践的授業 | | | |

| | | | |
|-------------------|---|-----|-------|
| 授業科目 | 生物学 | 単位数 | 講義2単位 |
| 担当教員 | 鮫島 正道 | | |
| 教員略歴 | 名古屋大学大学院農学部生体機構学修了(農学博士) 鹿児島大学法文学部、教育学部、農学部非常勤講師、第一幼児教育短期大学教授 平成24年4月から神村学園専修学校こども学科非常勤講師「生物学」、「保育内容演習(環境)」 | | |
| 授業目標 | 地球上に多くの生物種が生息する姿を浮上させ、その種が環境と関わりつつ生活し、それぞれの種が歴史時間を経て現在に至った事(分類、生態、進化)を明確に理解させる。また、保育者に必要な動植物についての知識や指導力を養い、地球環境問題をも理解させる。 | | |
| 授業内容 | <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 生物学と生命の探求 3. 人間の生活と生物① 4. 人間の生活と生物② 5. 分類学① 6. 分類学② 7. 形態学① 8. 形態学② 9. 形態学③ 10. 形態学④ 11. 生態学① 12. 生態学② 13. 生態学③ 14. 幼児と生き物① 15. 幼児と生き物② | | |
| 教材にかかわる情報 | プリントや資料を適宜配布する | | |
| 評価にかかわる情報 | | | |
| 実務経験のある教員による実践的授業 | | | |

| 授業科目 | 保育の国語 | 単位数 | 講義2単位 |
|-------------------|---|-----|-------|
| 担当教員 | 大山 千佳子 | | |
| 教員略歴 | 鹿児島女子大学(現:志学館大学)文学部国文学科卒業、日本語教員養成副専攻課程修了 鹿児島県立国分高校 国語科教諭、えびの高原国際専門学校 日本語学科専任教員、第一工業大学 日本語非常勤講師、九州日本語学校 日本語主任教員、春日日本語学院 日本語専任教員・主任教員 2009年～ 神村学園専修学校 日本語学科、中学校・高等学校国語(第一種)免許 | | |
| 授業目標 | 文章の様々な特性(文章・文体)や、保育分野で必要とされる基本用語の学びを通して、保育専門職としての文書表現力の向上を図る。 | | |
| 授業内容 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 保育者を目指す学生として必要な知識 2. 実習日誌の漢字を書いてみよう① 3. 実習日誌の漢字を書いてみよう② 4. 実習日誌の漢字を書いてみよう③ 5. 確認したい保育基礎用語 6. 保育の方法・形態 7. 保育の計画 8. 子どもの発達 9. 子どもの遊び 10. 生活と栄養 11. 安全と健康・保健 12. 障がい児保育・気になる子ども 13. 子育て支援 14. 保育者としての職務・安全管理 15. 保育者用語漢字の総まとめ | | |
| 教材にかかわる情報 | 「これだけは知っておきたいわかる・書ける・使える保育の基本用語」わかば社 プリントや資料を適宜配布する | | |
| 評価にかかわる情報 | 学習状況:レポート課題において専門知識の理解、獲得及び思考表現により評価 科目の成績評価:科目試験の結果により判定し評価する | | |
| 実務経験のある教員による実践的授業 | | | |

| | | | |
|-------------------|---|-----|-------|
| 授業科目 | 英語 | 単位数 | 演習2単位 |
| 担当教員 | 西原 薫 | | |
| 教員略歴 | 放送大学卒業 鹿児島国際大学・短期大学部 観光英会話Ⅰ・Ⅱ(Ⅲ・Ⅳ)クラス(ボランティアアシスタント) 中国・欧米からの観光客向け市場調査中国語通訳 鹿児島純心女子大学非常勤講師 | | |
| 授業目標 | 今日では幼稚園や保育園に外国人の園児が入園してくることもあり、保育現場で英語を使う機会も増えている。本科目では、英語表現の基礎となる文法・構文の復習を行うとともに、保育の現場で必要な英語表現を運用できる力を身に付けることを目標とする。 | | |
| 授業内容 | 1. 英語の文法① 2. 英語の文法② 3. 英語の文法③ 4. 英語の基礎構文① 5. 英語の基礎構文② 6. 英語の基礎構文③ 7. 入園準備 8. 登園・降園 9. 室内遊び 10. 外遊び 11. 健康・病気・けが 12. 運動・お散歩 13. 食事 14. 工作・お絵描き 15. おたより・行事 | | |
| 教材にかかわる情報 | 「英語コミュニケーション」豊岡短期大学配本テキスト 「新・保育の英語」テキスト | | |
| 評価にかかわる情報 | | | |
| 実務経験のある教員による実践的授業 | | | |

| 授業科目 | 体育講義 | 単位数 | 講義2単位 |
|-------------------|--|-----|-------|
| 担当教員 | 高橋秀樹 | | |
| 教員略歴 | 2015年 米国ニューヨーク州サラローレンス大学大学院ダンス/ムーブメント療法学科(修士課程) 2020年 京都大学大学院医学系研究科人間健康科学系専攻脳機能リハビリテーション学発達障害リハビリテーション学 研究室(博士課程)単位取得修了 2018年4月～2020年3月 四国大学看護学科看護学部(国際看護)非常勤講師 2018年4月～2020年3月 四国大学大学院看護研究科(助産学実践演習)非常勤講師 2020年4月～ 神村学園専修学校こども学科 | | |
| 授業目標 | 運動遊びとこどもの成長発達との関係を理解し、運動遊びの種類と遊びのどの局面がこどもの心と身体や社会性の成長・発達にどのように役立つかを理解し、具体的な援助方法を習得する。同時に、こどもが楽しく、安全に遊びや運動遊びに取り組むための人的・物的環境についての理解を深める。 | | |
| 授業内容 | 1 健康と運動 2 健康社会学 3 健康な生活設計 4 運動の基礎理論 5 運動生理学 6 運動処方 7 生活と運動 8 健康日本21 9 救急法 10 現代社会における体育教育 11 健康にかかわる運動①(レクリエーション) 12 健康にかかわる運動②(アダプテッドスポーツ) 13 健康にかかわる運動③(自然体験活動) 14 自己の健康と行動変容 15 自己の健康観とまとめ | | |
| 教材にかかわる情報 | | | |
| 評価にかかわる情報 | レポート課題において、専門知識の理解、獲得及び思考表現により判定し評価する。 科目試験において、成績評価を判定を行う。 | | |
| 実務経験のある教員による実践的授業 | | | |

| 授業科目 | 体育実技 | 単位数 | 実技1単位 |
|-------------------|--|-----|-------|
| 担当教員 | 高橋秀樹 | | |
| 教員略歴 | 2015年 米国ニューヨーク州サラローレンス大学大学院ダンス/ムーブメント療法学科(修士課程) 2020年 京都大学大学院医学系研究科人間健康科学系専攻脳機能リハビリテーション学発達障害リハビリテーション学 研究室(博士課程)単位取得修了 2018年4月～2020年3月 四国大学看護学科看護学部(国際看護)非常勤講師 2018年4月～2020年3月 四国大学大学院看護研究科(助産学実践演習)非常勤講師 2020年4月～ 神村学園専修学校こども学科 | | |
| 授業目標 | 運動遊びとこどもの成長発達との関係を理解し、運動遊びの種類と遊びのどの局面がこどもの心と身体や社会性の成長・発達にどのように役立つかを理解し、具体的な援助方法を習得する。同時に、こどもが楽しく、安全に遊びや運動遊びに取り組むための人的・物的環境についての理解を深める。 | | |
| 授業内容 | 1 ガイダンス 2 仲間づくりの時間 3 体力測定① 4 体力測定② 5 体力測定③ 6 さまざまなスポーツの体験① 7 さまざまなスポーツの体験② 8 さまざまなスポーツの体験③ 9 さまざまなスポーツの体験④ 10 さまざまなスポーツの体験⑤ 11 ニュースポーツの体験① 12 ニュースポーツの体験② 13 ニュースポーツの体験③ 14 レクリエーションの体験① 15 レクリエーションの体験② | | |
| 教材にかかわる情報 | | | |
| 評価にかかわる情報 | 受講態度や出席状況(60%)、体力測定に関するレポート課題(60%)から総合的に判断する。 | | |
| 実務経験のある教員による実践的授業 | | | |

| | | | |
|-------------------|--|-----|-------|
| 授業科目 | 社会福祉 | 単位数 | 講義2単位 |
| 担当教員 | 下木 猛史 | | |
| 教員略歴 | 学位:社会福祉学修士 平成元年～平成13年 児童心理治療施設「横浜いずみ学園」児童指導員 平成14年～平成29年 児童心理治療施設「鹿児島自然学園」総括主任 平成29年4月～神村学園専修学校こども学科専任教員(学科長) | | |
| 授業目標 | ・福祉にかかわる問題が社会と関連していることを説明することができる ・社会福祉の制度や施策が自分の生活の身近な存在であると感じることができる ・保育士と社会福祉の関係を述べるることができる | | |
| 授業内容 | 1. 授業ガイダンス／私たちを取りまく生活問題 2. 私たちを取りまく生活問題(DVD視聴) 3. 社会福祉の基本理念と歴史 4. 社会福祉のしくみ①(法律・行政・財政・機関) 5. 社会福祉のしくみ②(法律・行政・財政・機関) 6. 社会保障(年金保険・医療保険) 7. 低所得者福祉 8. 子どもと家庭福祉① 9. 子どもと家庭福祉② 10. 高齢者福祉 11. 介護保険 12. 障害者福祉 13. 地域福祉 14. 利用者保護制度 15. 社会福祉援助技術 | | |
| 教材にかかわる情報 | 新・プリマーズ保育「社会福祉(第5版)」ミネルヴァ書房 | | |
| 評価にかかわる情報 | 授業態度(20%)／ミニテスト(20%)／試験(50%)で総合的評価をします | | |
| 実務経験のある教員による実践的授業 | 児童福祉施設の総括主任として、家庭支援に長年携わり、社会福祉的視点(ソーシャルワーク)での実務経験をふまえた講義を行う | | |

| | | | |
|-------------------|--|-----|---|
| 授業科目 | こども家庭支援論 | 単位数 | 2 |
| 担当教員 | 下木猛史 | | |
| 教員略歴 | 学位:社会福祉学修士 平成元年～平成13年 児童心理治療施設「横浜いずみ学園」児童指導員 平成14年～平成29年 児童心理治療施設「鹿児島自然学園」総括主任 平成29年4月～神村学園専修学校こども学科専任教員(学科長) | | |
| 授業目標 | ・子育て家庭に対する支援の体制について理解する ・子育て家庭のニーズに応じた多様な支援の展開について理解する ・子ども家庭支援の現状や課題について理解する | | |
| 授業内容 | 1. 子ども家庭支援の意義と役割 2. 子ども家庭支援の目的と機能 3. 保育の専門性を活かした子ども家庭支援の意義と基本 4. 子どもの育ちの喜びの共有 5. 保護者及び地域が有する子育てを自ら実践する力の向上に資する支援 6. 保育士に求められる基本的態度 7. 家庭の状況に応じた支援 8. 地域の資源の活用と自治体・関係機関との連携・協力 9. 子育て家庭の福祉を図るための社会資源 10. 子育て支援施策・次世代育成支援施策の推進 11. 子ども家庭支援の内容と対象 12. 保育所等を利用する子ども家庭への支援 13. 地域の子育て家庭への支援 14. 要保護児童等及びその家庭に対する支援 15. 子ども家庭支援に関する現状と課題 | | |
| 教材にかかわる情報 | シートブック「子ども家庭支援論」建帛社 | | |
| 評価にかかわる情報 | | | |
| 実務経験のある教員による実践的授業 | 児童福祉施設の総括主任として、家庭支援に長年携ってきた豊富な実務経験をふまえ講義を行う | | |

| | | | |
|-------------------|---|-----|-------|
| 授業科目 | こども家庭福祉 | 単位数 | 講義2単位 |
| 担当教員 | 下木猛史 | | |
| 教員略歴 | 学位:社会福祉学修士 平成元年～平成13年 児童心理治療施設「横浜いずみ学園」児童指導員 平成14年～平成29年 児童心理治療施設「鹿児島自然学園」総括主任 平成29年4月～神村学園専修学校こども学科専任教員(学科長) | | |
| 授業目標 | 現代社会における子ども家庭福祉の意義と歴史の変遷について理解する 制度や関係機関の実施体制について学びを深める 子どもの人権に目を向けながら子どもの家庭福祉の現状と課題についての考察を深める | | |
| 授業内容 | 1.現代社会における子ども家庭福祉の意義と歴史の変遷 2.現代社会とこどもの家庭福祉 3.子どもの権利 4.子どもの人権擁護と現代社会における課題 5.子ども家庭福祉制度と法体系および実施体系 6.児童福祉施設と子どもの家庭福祉の専門職・実施者 7.少子化と地域子育て支援 8.母子保健と子どもの健全育成 9.多様な保育へのニーズ 10.子どもの虐待・DVとその防止 11.社会的養護 12.障害のある子どもへの対応 13.少年非行など対応 14.貧困家庭、ひとり親家庭、外国籍の子どもとその家庭への対応 15.子ども家庭福祉の動向と展望 | | |
| 教材にかかわる情報 | 「こども家庭福祉」豊岡短期大学テキスト | | |
| 評価にかかわる情報 | 授業態度(20%)／ミニテスト(20%)／試験(50%)で総合的評価をします | | |
| 実務経験のある教員による実践的授業 | 児童心理治療施設の総括主任として長年子どもと家庭の福祉支援に携わってきた経験をふまえ講義を行う | | |

| 授業科目 | 保育原理 | 単位数 | 講義2単位 |
|-------------------|---|-----|-------|
| 担当教員 | 泊明希佳 | | |
| 教員略歴 | 鹿児島国際大学大学院福祉社会学研究科(博士前期課程修了) 平成29年度末まで、鹿児島県内保育所にて保育士として勤務後、平成30年度より本学こども学科専任講師として就任。免許・資格:保育士、幼稚園教諭、司書 | | |
| 授業目標 | 保育原理では、子どもをめぐる環境を踏まえながら、「保育とは何か」を広い視野から捉えて保育全般を学ぶ。具体的には、保育の意義と目的、保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育、保育要領における保育の基本について理解し、保育者としての資質の在り方に目を向け、保育における様々な課題に関する認識を深める。 | | |
| 授業内容 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 保育とは何か(1) ・保育の意義と目的 2. 保育とは何か(2) ①子どもの最善の利益を考慮した保育 ②保護者との協働 3. 保育とは何か(3) ①保育の社会的意義 ②保育所保育と家庭的保育 4. 保育所保育指針における保育の基本(1) ①保育の目標と方法 ②養護と教育の一体性 5. 保育所保育指針における保育の基本(2) ①環境による保育 ②発達過程に応じた保育 6. 保育所保育指針における保育の基本(3) ①子どもの健康と安全と保育計画 ②保護者に対する支援 ③倫理観に裏付けられた保育士の専門性 7. 保育の質を高めるための方法(1) ・望ましい未来を作り出す力の基礎を培う 8. 保育の質を高めるための方法(2) ・生活と遊びを通して総合的に行う保育 9. 保育の質を高めるための方法(3) ・保育における個と集団への配慮 10. 保育の思想と歴史的変遷(1) ・欧米の保育思想の展開と保育施設の発展 11. 保育の思想と歴史的変遷(2) ・我が国における保育の歴史的変遷 12. 保育の制度(1) ①保育所について ②幼稚園について 13. 保育の制度(2) ①認定こども園について ②家庭的保育事業について 14. 保育の現状と課題(1) ・日本の保育の現状と課題 15. 保育の現状と課題(2) ・諸外国の保育の現状と課題 | | |
| 教材にかかわる情報 | | | |
| 評価にかかわる情報 | <ul style="list-style-type: none"> ・レポート課題における専門知識の理解、獲得及び思考表現により判定し評価する ・科目試験の結果により判定し評価する | | |
| 実務経験のある教員による実践的授業 | 保育所保育士としての豊富な実務経験をふまえ講義を行う | | |

| | | | |
|-------------------|---|-----|-------|
| 授業科目 | 社会的養護Ⅰ | 単位数 | 講義2単位 |
| 担当教員 | 下木猛史 | | |
| 教員略歴 | 学位:社会福祉学修士 平成元年～平成13年 児童心理治療施設「横浜いずみ学園」児童指導員 平成14年～平成29年 児童心理治療施設「鹿児島自然学園」総括主任 平成29年4月～神村学園専修学校こども学科専任教員(学科長) | | |
| 授業目標 | 現代社会における社会的養護の意義と歴史の変遷について理解する 子どもの人権擁護を踏まえた社会的養護の基本について理解する 社会的養護の制度や実施体系などについて理解する 社会的養護の対象や形態、関係する専門職などについて理解する 社会的養護の現状と課題について理解する | | |
| 授業内容 | 1.社会的養護の理念と概念 2.社会的養護の歴史の変遷 3.子どもの人権擁護と社会的養護 4.社会的養護の基本原則 5.社会的養護における保育士などの倫理と責任 6.社会的養護の制度と法体系 7.社会的養護の仕組みと実施体系 8.社会的養護の対象 9.家庭擁護と施設擁護 10.社会的養護にかかわる専門職 11.社会的養護にかかわる社会的状況 12.施設などの運営管理 13.被措置児童などの虐待防止 14.社会的養護と地域福祉 15.保育現場における社会的養護の現状と課題 | | |
| 教材にかかわる情報 | 「社会的養護Ⅰ」豊岡短期大学配本テキスト | | |
| 評価にかかわる情報 | | | |
| 実務経験のある教員による実践的授業 | 長年、児童福祉施設に勤務し、社会的養護をもとで生活する子どもたちとかかわってきた豊富な実務経験をふまえて講義を行う | | |

| | | | |
|-------------------|--|-----|-------|
| 授業科目 | 教育原理 | 単位数 | 講義2単位 |
| 担当教員 | 別府一誠 | | |
| 教員略歴 | 早稲田大学大学院教育学研究科学校教育専攻修了 修士(実践教育学) 平成29年度まで、主に鹿児島県公立学校教員(中学校、特別支援学校)として勤務後、平成30年度より本学こども学科専任講師として就任。免許：中学校教諭専修免許状(社会)、高等学校教諭専修免許状(地理歴史)・(公民)、養護学校教諭1級免許状 資格：社会教育主事、社会福祉主事、知的障害者福祉司、児童福祉司、精神保健福祉相談員、児童相談員、家庭相談員、身体障害者福祉司(以上、任用資格) これまでの主な校務分掌：教務主任、学年主任、進路指導主任、社会科主任、特別支援教育コーディネーター等 | | |
| 授業目標 | 教育の思想とその作用、また我が国の教育制度・理念・歴史について学ぶことにより、教育の課題と可能性についての理解を深めること及び学校教育に関する社会的、制度的事項を理解し、地域との連携並びに学校安全に関する理解を深めることを目標とする。 | | |
| 授業内容 | <ol style="list-style-type: none"> 1 教育、教育原理の意義・目的・特性と、こども家庭福祉等との関連性 2 世界の教育思想①ソクラテス〜ヘルソーの思想・実践 3 世界の教育思想②ヘルバルト〜デューイの思想・実践 4 日本の教育思想 5 子どもの発達と教育 6 子どもの権利 7 制度から見る保育所、幼稚園、認定こども園 8 内容から見る保育所、幼稚園、認定こども園 9 世界における教育の歴史的変遷 10 日本における教育の歴史的変遷 11 公教育制度、義務教育制度 12 教師という仕事、教授法 13 教育における今日的課題①学習指導要領の改訂に伴う幼児教育の変化 14 教育における今日的課題②危機・安全管理カリキュラム、アクティブラーニング 15 教育における今日的課題③学校外との連携 | | |
| 教材にかかわる情報 | 「教育原理」(配本テキスト) 「幼稚園教育要領解説」(フレーベル館)、「保育所保育指針解説」(フレーベル館)、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」(フレーベル館) | | |
| 評価にかかわる情報 | | | |
| 実務経験のある教員による実践的授業 | 長年、中学校や特別支援学校で教鞭をとり、広い視点で教育分野をみてきた豊富な実務経験を活かした講義を行う | | |

| | | | |
|-------------------|---|-----|-------|
| 授業科目 | 発達心理学 | 単位数 | 講義2単位 |
| 担当教員 | 仲 沙織 | | |
| 教員略歴 | 福岡大学大学院人文科学研究科博士課程(後期)教育・臨床心理専攻修了 博士(臨床心理学) 現在鹿児島純心女子大学講師を務める。平成31年度4月より神村学園専修学校こども学科非常勤講師 小学校教諭一種免許、幼稚園教諭一種免許、養護学校教諭一種免許、臨床心理士 実務経験:武岡幼稚園教諭(平成13年4月～12月) 鎮西敬愛学園教諭(平成15年4月～平成16年3月) 緑風会水戸病院臨床心理士(平成24年4月～平成25年12月) メンタルヘルスサポート九州臨床心理士(平 成24年4月～平成27年3月) | | |
| 授業目標 | 学習者は、実際の保育活動や、対人支援活動の中で生かせる様々な知識を身に付けることができ ます。特に、発達心理学の基礎的理論および保育活動に重要な乳幼児期について重点的に学ぶ。 加えて、発達とは生涯を通じて起こるものであることを理解し、生涯発達について概観的知識を得る。 | | |
| 授業内容 | 1. 発達心理学の定義、発達心理学で学ぶ内容の概要 2. 発達とはどのような起こるか: 遺伝説と環境説、それらの複合説 3. 動物における生理学的欲求とは異なる社会的行動について 4. ポウルビーによる愛着理論と、愛着の発達 5. スレンジシチュエーション法と、愛着理論の保育への活用 6. 乳児期の発達① 7. 乳児期の発達② 8. 幼児期から児童期の発達 9. 児童期・青年期の発達 10. 成人期の発達 11. 壮年期・老年期の発達 12. ハヴィガーストおよびエリクソンの発達課題から見る生涯発達心理学 13. 発達心理学と教育学の関連 14. 保育に活用できる発達心理学 15. 自身の学びに活用できる発達心理学 | | |
| 教材にかかわる情報 | 「発達心理学」豊岡短期大学配本テキスト 「幼稚園教育要領解説」「保育所保育士指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 | | |
| 評価にかかわる情報 | | | |
| 実務経験のある教員による実践的授業 | 臨床心理士として、病院等の現場で心理相談業務に携わってきた実務経験をふまえて講義を行う | | |

| 授業科目 | 教育心理学 | 単位数 | 演習1単位 |
|-------------------|--|-----|-------|
| 担当教員 | 仲 沙織 | | |
| 教員略歴 | 福岡大学大学院人文科学研究科博士課程(後期)教育・臨床心理専攻修了 博士(臨床心理学) 現在鹿児島純心女子大学講師を務める。平成31年度4月より神村学園専修学校こども学科非常勤講師 小学校教諭一種免許、幼稚園教諭一種免許、養護学校教諭一種免許、臨床心理士 実務経験:武岡幼稚園教諭(平成13年4月～12月) 鎮西敬愛学園教諭(平成15年4月～平成16年3月) 緑風会水戸病院臨床心理士(平成24年4月～平成25年12月) メンタルヘルスサポート九州臨床心理士(平 4月～平成27年3月) | | |
| 授業目標 | 教育心理学では、教育と特に乳幼児期から青年期における人の発達について、心理学的に理解 していく学問である。本講義では、発達に関する代表的な理論を踏まえたうえで、教育における発達の 意義と理解を土台にして、こどもの主体的な学習を支える動機付け、指導方法と実践活動について 学びを進めていく。取り囲む人的物理的な環境との相互作用により育ちゆく子どもたちにとって、重要な 集団作りと評価についても取り扱っていく。基礎的な知識を十分に理解した上で、その内容を子どもの 育ちを支える教育・保育実践に活かす力を修得していく。 | | |
| 授業内容 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 各段階の発達の特徴 2. エリクソンの発達課題 3. ピアジェの認知発達理論 4. 思考発達段階ごとの特徴 5. 感覚記憶、短期記憶、長期記憶 6. 単純記憶から複雑記憶へ 7. 日常生活から見る学習理論 8. オペラント条件付けを利用した保育実践 9. 指導者の態度 10. 様々な学習形態とその効果 11. 遊びの変化 12. 遊びを通じた社会性の発達 13. 幼児期に迎える第一次反抗期と自立 14. 道徳の指導法 15. 教育心理学を用いた環境づくり | | |
| 教材にかかわる情報 | 「教育心理学」豊岡短期大学配本テキスト 「幼稚園教育要領解説」「保育所保育士指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 | | |
| 評価にかかわる情報 | 学習状況:レポート課題において専門知識の理解、獲得及び思考表現により評価 | | |
| 実務経験のある教員による実践的授業 | 臨床心理士として、病院等の現場で心理相談業務に携わってきた実務経験をふまえて講義を行う | | |

| | | | |
|-------------------|--|-----|-------|
| 授業科目 | こどもの保健 | 単位数 | 講義2単位 |
| 担当教員 | 嘉ほずみ | | |
| 教員略歴 | 琉球大学医学部保健学科卒業 保健衛生学士 保健婦、看護師、助産師免許所有 鹿児島県龍郷町役場保健福祉課保健師、子供専門訪問看護ステーションファースト看護師主任を経て、神村学園専修学校こども学科非常勤。 | | |
| 授業目標 | 子どもの身体的発育・発達段階を理解し、保育実践に活かす 子どもを取り巻く環境を理解し、他社との連携を取りながら保育を行うことができる | | |
| 授業内容 | 1. こどもの心身の健康と保健の意義 2. 保健活動の意義 3. 地域における保健活動と虐待 4. こどもの身体的発育・発達と保健 5. こどもの心身の健康状態 6. 障害のある子どもへの対応 7. こどもの疾病の予防及び適切な対応 8. 感染症対策 9. 災害対策 10. 事故防止・安全対策 11. 健康及び安全管理の実施 12. プライバシー保護・守秘義務 13. 保護者に対する子育て支援 14. 地域の関係機関との連携 15. 学生自身の振り返り | | |
| 教材にかかわる情報 | 「こどもの保健Ⅰ」「こどもの保健Ⅱ」豊岡短期大学配本テキスト 「保育所保育指針解説」、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」 | | |
| 評価にかかわる情報 | 学習状況：レポート課題において専門知識の理解、獲得及び思考表現により評価 | | |
| 実務経験のある教員による実践的授業 | 保健士・看護師・助産師として長年業務に携わってきた豊富な実務経験をふまえて講義を行う | | |

| | | | |
|-------------------|---|-----|-------|
| 授業科目 | こどもの健康と安全 | 単位数 | 演習1単位 |
| 担当教員 | 五反田聖子 | | |
| 教員略歴 | 神村学園専修学校看護学科専任講師。 実務経験: 済生会川内病院に看護師として勤務(平成24年4月～平成30年3月) | | |
| 授業目標 | 近年のデータや関連するガイドラインなどを通して、こどもの健康・安全にかかわる保健的対応を学び、発達などに即した適切な具体的援助を学ぶ | | |
| 授業内容 | <ol style="list-style-type: none"> 1. こどもの保健的観点を踏まえた保育環境及び援助 2. 保育における感染症対策 3. こどもの感染症発生時と罹患後の対応 4. 保育園での集団発生の予防 5. 保育における健康・安全の危機管理 6. 衛生管理・事故防止・安全対策 7. こどもの病気とその予防、適切な対応 8. 応急処置・救急処置・救急蘇生法 9. 個別的な配慮を要する子どもへの対応 10. 慢性疾患・アレルギー性疾患など 11. 障害のある子どもへの対応 12. 健康管理・安全管理の連携の必要性 13. 職員間の連携・協同と組織的取り組み 14. 保育における保健活動の計画及び評価 15. 学生自らのリフレクション | | |
| 教材にかかわる情報 | 「こどもの保健Ⅰ」「こどもの保健Ⅱ」豊岡短期大学配本テキスト 「保育所保育指針解説」、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」 | | |
| 評価にかかわる情報 | 学習状況: レポート課題において専門知識の理解、獲得及び思考表現により評価 | | |
| 実務経験のある教員による実践的授業 | 看護師として医業に携わってきた実務経験をふまえて講義を行う | | |

| | | | |
|-------------------|--|-----|-------|
| 授業科目 | こどもの食と栄養 | 単位数 | 演習2単位 |
| 担当教員 | 西村和子 | | |
| 教員略歴 | 管理栄養士 病院管理栄養士を経て、鹿児島県赤十字血液センターホリスティックヘルスプラザ食養成講師など | | |
| 授業目標 | ヒトが動物としてまた、人間らしく生きていくために何をどのように食べるべきなのかという基本を理解する。その上で、それを暮らしの中にどのような具体的な形で、子どもたちに伝えていくのかということを知り理解し、考え、身に付ける。 | | |
| 授業内容 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 栄養に関する基本概念と栄養素についての理解 2. 食事摂取基準・献立作成および食品についての理解① 3. ライフステージ毎のこどもの発育発達と食生活についての理解 4. こどもの食生活の現状と課題についての理解 5. 食育実践のための基礎知識 6. 保育所保育指針および食育基本法の理解と実践のための計画評価環境整備 7. 特別な配慮を要する子どもへの対応 8. 栄養の基本概念と栄養素についての理解 9. 食事摂取基準・献立作成および食品についての理解② 10. こどもの発育・発達と食生活 離乳期 11. こどもの発育・発達と食生活 乳・幼児期 12. こどもの発育・発達と食生活 学童・思春期 13. 「楽しく食べるこどもに」の実践のための食育の基本と内容 14. 食育実践のための基本的知識の理解と実践法 15. 特別な配慮を要する子どもへの支援 | | |
| 教材にかかわる情報 | 「こどもの食と栄養」豊岡短期大学配本テキスト 「保育所保育指針解説」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」フレーベル館 | | |
| 評価にかかわる情報 | | | |
| 実務経験のある教員による実践的授業 | 管理栄養士として病院の栄養管理業務に携わってきた豊富な実務経験をふまえて講義を行う | | |

| | | | |
|-------------------|---|-----|-------|
| 授業科目 | こどもの発達と家庭支援 | 単位数 | 講義2単位 |
| 担当教員 | 福崎 英子 | | |
| 教員略歴 | 志學館大学大学院心理臨床学研究科修了(心理臨床学修士) 保育士、幼稚園教諭二種免許状、社会福祉士、臨床心理士 鹿児島県教育委員会委嘱のスクールカウンセラー 麦の芽福祉会鹿児島子ども療育センター・発達相談員 | | |
| 授業目標 | 生涯発達の観点からの発達のプロセスや初期発達の重要性について理解し、保育との関連性について考え、子どもの発達段階ごとの特徴と重視すべき課題について理解する。子育て家庭に関する現状と課題を把握し、子育てを取り巻く社会的状況と課題について理解する。 | | |
| 授業内容 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 乳児期の発達 2. 幼児期の発達 3. 学童期の発達 4. 青年期の発達 5. 成人期・中年期の発達 6. 老年期の発達 7. 家族・家庭の意義と機能 8. 親子関係・家族関係の理解 9. 子育ての経験と親としての育ち 10. 子育てを取り巻く社会的環境 11. ライフスタイルと仕事・子育て 12. 多様な家庭とその理解 13. 特別な配慮を要する過程 14. 子どもの生活・生育環境とその影響 15. 子どもの心の健康にかかわる問題 | | |
| 教材にかかわる情報 | 「こどもの発達と家庭支援」豊岡短期大学配本テキスト 「保育所保育指針解説」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」フレーベル館 | | |
| 評価にかかわる情報 | 学習状況:レポート課題において専門知識の理解、獲得及び思考表現により評価 | | |
| 実務経験のある教員による実践的授業 | スクールカウンセラーや発達相談員として、こどもや家族の心理相談業務に携わっており、豊富な実務経験をふまえて講義を行う | | |

| 授業科目 | 保育内容総論 | 単位数 | 演習1単位 |
|-------------------|--|-----|-------|
| 担当教員 | 前原寛 | | |
| 教員略歴 | 筑波大学文芸・言語研究科一般応用言語学専攻博士課程満期退学 文学修士(言語学) 鹿児島女子短期大学、第一幼児教育短期大学、鹿児島国際大学非常勤講師を経て、平成30年度より神村学園専修学校こども学科非常勤講師 実務経験:社会福祉法人至宝福祉会安良保育園副園長(昭和60年4月～昭和62年5月)、同園(昭和62年5月～平成18年3月)、現在同法人理事長 | | |
| 授業目標 | 保育所や幼稚園、認定こども園における「保育」の全体的構造について理解し、各領域の保育内容を総合的にとらえる視点から、乳幼児期の発達過程、園での生活や遊び、保育計画、具体的な援助などについて保育の流れを概観し、保育実践と結びつけながら学ぶことを目的とする。 | | |
| 授業内容 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 保育の全体構造① 2. 保育の全体構造② 3. 保育内容の歴史的変遷① 4. 保育内容の歴史的変遷② 5. 養護と教育の一体的展開 6. 乳幼児期にふさわしい生活と保育内容① 7. 乳幼児期にふさわしい生活と保育内容② 8. 生きる力の基礎を育む保育内容の展開① 9. 生きる力の基礎を育む保育内容の展開② 10. 全体的な計画の作成と指導計画の作成① 11. 全体的な計画の作成と指導計画の作成② 12. 保育の評価と保育の記録① 13. 保育の評価と保育の記録② 14. 保育内容の現代的課題について① 15. 保育内容の現代的課題について② | | |
| 教材にかかわる情報 | 「保育内容総論」豊岡短期大学配本テキスト 「幼稚園教育要領解説」「保育所保育士指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 | | |
| 評価にかかわる情報 | 学習状況:レポート課題において専門知識の理解、獲得及び思考表現により評価 | | |
| 実務経験のある教員による実践的授業 | 保育園園長として長年保育に携わり、豊富な実務経験をふまえて講義を行う | | |

| 授業科目 | 保育内容演習(健康) | 単位数 | 演習1単位 |
|-------------------|---|-----|-------|
| 担当教員 | 谷川知士 | | |
| 教員略歴 | 福岡大学スポーツ科学部スポーツ健康科学研究科博士課程後期 得満期退学 修士(スポーツ健康学) 中学校・高等学校一種保健体育免許 社会福祉士、介護支援専門員 福岡市社会福祉事業団、福岡市立西部療育センター相談係長、同福岡市なのみ学園副園長を経て、鹿児島女子短期大学生生活福祉専攻教授 神村学園専修学校こども学科非常勤講師 | | |
| 授業目標 | 乳幼児期は、生涯を見据え健康な心身の基礎を作る重要な時期である。こどもの健康を守り育てるためには、実際の保育現場でこどもの発育発達をいかに捉え、いかなる内容についていかにしどうし支援することが効果的かを理解する必要がある。本授業では、こどもの個々の健康状態を評価する能力を多領域から養うことを目的とする。 | | |
| 授業内容 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 領域「健康」の意味、保育の意義と児童観① 2. 領域「健康」の意味、保育の意義と児童観② 3. 乳幼児の心身の発育発達、幼児期の心の発達、幼児期の身体発達① 4. 乳幼児の心身の発育発達、幼児期の心の発達、幼児期の身体発達② 5. こどもの心の健康、心の発達とストレスサイン① 6. こどもの心の健康、心の発達とストレスサイン② 7. 基本的な生活習慣の獲得、幼児の生活スタイルの現状と問題点① 8. 基本的な生活習慣の獲得、幼児の生活スタイルの現状と問題点② 9. こどもの遊びの発達と健康、幼児の遊びを豊かにするための保育者の役割① 10. こどもの遊びの発達と健康、幼児の遊びを豊かにするための保育者の役割② 11. 安全管理と安全教育、交通安全指導、避難訓練① 12. 安全管理と安全教育、交通安全指導、避難訓練② 13. 健康と自然環境、園外保育の活動内容① 14. 健康と自然環境、園外保育の活動内容② 15. 保幼小連携と保育内容「健康」のまとめ | | |
| 教材にかかわる情報 | 「幼稚園教育要領解説」「保育所保育士指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 | | |
| 評価にかかわる情報 | 学習状況:レポート課題において専門知識の理解、獲得及び思考表現により評価 | | |
| 実務経験のある教員による実践的授業 | 長年、子どもたちの健康・発達を支える療育施設に携わり、豊富な実務経験をふまえて講義を行う | | |

| 授業科目 | 保育内容演習(人間関係) | 単位数 | 演習1単位 |
|-------------------|--|-----|-------|
| 担当教員 | 前原寛 | | |
| 教員略歴 | 筑波大学文芸・言語研究科一般応用言語学専攻博士課程満期退学 文学修士(言語学) 鹿児島女子短期大学、第一幼児教育短期大学、鹿児島国際大学非常勤講師を経て、平成30年度より神村学園専修学校こども学科非常勤講師 実務経験:社会福祉法人至宝福祉会安良保育園副園長(昭和60年4月～昭和62年5月)、同園(昭和62年5月～平成18年3月)、現在同法人理事長 | | |
| 授業目標 | 近年わが国では、急速な情報化の進展によりインターネットや携帯電話などを利用した多様なコミュニケーションが頻繁になされるようになった。反面、かつて家庭や地域社会にあった対面での相互交流を通じた豊かな人間関係を築いていく基盤が失われつつある。「ヒト」は人と人のかかわりを持てるようになることで「人間」になっていく。子どもたちが、人的物的環境にかかわり、主体的に活動することや、お互いに支えあって生活をしていくことに喜びや充実感を感じるために、保育者の適切な援助方法や「人間関係」についての基礎知識の習得を目的とする。 | | |
| 授業内容 | 1. 領域「人間関係」 2. 保育者としての環境づくりと評価 3. 子どもの人間関係の育ちと保育者との役割と援助 ①対人意識 4. 子どもの人間関係の育ちと保育者との役割と援助 ②自己概念 5. 子どもの人間関係の育ちと保育者との役割と援助 ③個と集団の育ちの姿 6. 子どもの人間関係の育ちと保育者との役割と援助 ④子どものよりどころである保育者の工夫 7. 子どもの人間関係の育ちと保育者との役割と援助 ⑤子どもの心の揺れを支える保育者の工夫 8. 子どもの人間関係の育ちと保育者との役割と援助 ⑥調和を支える保育者の工夫 9. 子どもの人間関係の育ちと保育者との役割と援助 ⑦子どもの自己発揮を支える保育者の工夫 10. 子どもの人間関係の育ちと保育者との役割と援助 ⑧自己抑制を支える保育者の工夫 11. 子どもの人間関係の育ちと保育者との役割と援助 ⑨子ども同士を結び付ける保育者の遊びの工夫 12. 子どもの人間関係の育ちと保育者との役割と援助 ⑩子ども同士を結び付ける遊びの保育計画 13. 子どもの人間関係の育ちと保育者との役割と援助 ⑪地域の人々との多様なかかわりを導く保育計画 14. 子どもの人間関係の育ちと保育者との役割と援助 ⑫情報機器を用いた保育計画を含む指導案 15. 領域「人間関係」のまとめ | | |
| 教材にかかわる情報 | 「幼稚園教育要領解説」「保育所保育士指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 | | |
| 評価にかかわる情報 | | | |
| 実務経験のある教員による実践的授業 | 保育園園長として長年保育に携わり、豊富な実務経験をふまえて講義を行う | | |

| 授業科目 | 保育内容演習(環境) | 単位数 | 演習1単位 |
|-------------------|---|-----|-------|
| 担当教員 | 鮫島正道 | | |
| 教員略歴 | 名古屋大学大学院農学部生体機構学修了(農学博士) 鹿児島大学法文学部、教育学部、農学部非常勤講師、第一幼児教育短期大学教授 平成24年4月から神村学園専修学校こども学科非常勤講師「生物学」、「保育内容演習(環境)」 実務経験:長崎鼻パーキングガーデン園長(昭和60年～平成13年)、日本水族館協会理事(平成、平成13年) 環境庁希少野生動植物保存推進委員(平成9年～) | | |
| 授業目標 | 保育内容「環境」のねらい及び内容について理解を深めるとともに、乳幼児の発達に即して、具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法に身に付ける。 | | |
| 授業内容 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 環境という言葉の定義 2. 環境を通して行う保育の意味 3. 領域「環境」のねらいと内容 4. 領域「環境」の指導上の注意点と指導計画 5. 身近な環境の構成 6. 視聴覚教材を用いた自然環境などの理解 7. 保育における環境の重要性 8. 保育における環境と小学校との連続性 9. 保育環境デザイン 10. 保育環境デザインと指導案作成 11. 保育者の役割 12. こども同士の関わり合いから考える保育構想 13. 標識・文字の出会い 14. 数量と図形・ものの性質との出会い 15. こどもの遊びの世界における「サンマ」の重要性と表示方法指導と小学校との連携理解 | | |
| 教材にかかわる情報 | 「幼稚園教育要領解説」「保育所保育士指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 | | |
| 評価にかかわる情報 | | | |
| 実務経験のある教員による実践的授業 | 動植物園園長として、また環境庁の委員として動植物や環境に携わり、豊富な経験をふまえて講義を行う | | |

| 授業科目 | 保育内容演習(言葉) | 単位数 | 演習1単位 |
|-------------------|---|-----|-------|
| 担当教員 | 山口 博恵 | | |
| 教員略歴 | 草苑学園草苑保育専門学校卒業、幼稚園教諭一種免許状 学校法人西薩キリスト教学園のぞみ幼稚園園長 国際人間学部こども学科 保育内容「言葉と保育理論と方法」 神村学園専修学校こども学科 保育内容演習Ⅳ(言葉)、表現技術Ⅳ(児文) | | |
| 授業目標 | 1. 人としてのあかしと言われる言葉について、乳幼児期の言葉の発達過程を理解することを目的とする。 2. 言葉を用いて思考し、人と話そうとする意欲、他人の話を聞く姿勢・態度、小学生の生活に必要な自己表現ができる「言葉」の獲得などについて理解することを目的とする。 3. 言葉遊び、文字体験などの活動を通して、言葉に対する感覚、言葉の持つ美しさ、楽しさを認識し、理解すりこむことを目的とする。 | | |
| 授業内容 | 1. 幼児教育と言葉 2. 言葉とは何か 3. 領域「言葉」の位置づけ 4. 乳幼児期の言葉の発達過程と保育者としての評価 5. 言葉を豊かに育む活動① 6. 言葉を豊かに育む活動② 7. 保育者と言葉の在り方 8. 外国のこどものとの対応 9. 言葉を豊かに育む活動③ 10. 言語教材としての絵本の意義 11. 絵本とデジタル教材と保育現場の実際及び言語教材を用いた指導案の作成 12. 言葉を豊かに育む活動④ 13. 絵本、お話などの指導法 14. 絵本、お話などの実践による指導案作成及び模擬保育 15. 言葉の年間授業計画と幼稚園、保育園、認定こども園と小学校との連携 | | |
| 教材にかかわる情報 | 「幼稚園教育要領解説」「保育所保育士指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 | | |
| 評価にかかわる情報 | 学習状況:レポート課題において専門知識の理解、獲得及び思考表現により評価 | | |
| 実務経験のある教員による実践的授業 | 幼稚園園長として、絵本を通した子どもの教育に長年取り組み、その実務経験をふまえた講義を行う | | |

| 授業科目 | 保育内容演習(表現) | 単位数 | 演習1単位 |
|-------------------|--|-----|-------|
| 担当教員 | 林 泰史 | | |
| 教員略歴 | 平成8年3月 金沢美術工芸大学大学院美術工芸研究科 修了 修士(芸術) 平成17年～平成29年 金沢美術工芸大学美術工芸学部工芸科 講師及び准教授 平成31年～令和2年 奈良保育学院保育科 常勤講師 令和2年～ 神村学園専修学校こども学科 専任講師 実務経験:株式会社キヨロク清水久兵衛アトリエ助手(平成8年～平成11年)林テーキン製作所企画開発室 総括(平成11年～平成17年)金沢工芸こども塾運営委員(平成22年～平成29年) | | |
| 授業目標 | 子どもにとっての造形活動とは何か。好きなものや、やりたいことなど子どもにとって遊びが物事の発見であり、体験でもあるので、大きな意味を持っている。こどもは発達とともに感性も広がりを見せ、いろいろなことに興味を持ち、体験していく。こどもたちは無限の可能性を持っており、いかにして一つでも多くの可能性を引き出す手助けができるか。この授業では、上記のことを踏まえ、幼稚園、保育園での表現における子どもの発達段階も踏まえながら、制作指導も行う。 | | |
| 授業内容 | 1.授業内容の説明、人と造形表現について 2.造形教育、発達段階と表現について 3.描画材料について、課題制作① 4.描画材料について、課題制作② 5.描画材料について、課題制作③ 6.色画用紙での教材製作① 7.色画用紙での教材製作② 8.色画用紙での教材製作③ 9.造形素材(粘土)について、課題演習① 10.造形素材(粘土)について、課題演習② 11.造形素材(粘土)について、課題演習③ 12.絵本について、簡単な絵本作りに関して 13.絵本製作① 14.絵本製作② 15.まとめ、小問題 | | |
| 教材にかかわる情報 | 「幼稚園教育要領解説」「保育所保育士指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 | | |
| 評価にかかわる情報 | | | |
| 実務経験のある教員による実践的授業 | 造形作家として、子どもたちの制作現場における指導に携わり、そこでの経験をふまえた講義を行う | | |

| | | | |
|-------------------|--|-----|-------|
| 授業科目 | 乳児保育Ⅰ | 単位数 | 講義2単位 |
| 担当教員 | 泊明希佳 | | |
| 教員略歴 | 鹿児島国際大学大学院福祉社会学研究科(博士前期課程修了) 平成29年度末まで、鹿児島県内保育所にて保育士として勤務後、平成30年度より本学こども学科専任講師として就任。免許・資格:保育士、幼稚園教諭、司書 | | |
| 授業目標 | 乳幼児保育の歩みと現状、乳幼児の発達上の特徴など、基本的な知識について学び、その意義や必要性を理解できるようにする。人としての基礎を培う大切な乳幼児期に関わる保育者の役割を理解し、適切な保育の計画や方法、保護者への支援の習得を目指す。 | | |
| 授業内容 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 乳幼児保育の意義・概念と歴史の変遷 2. 乳幼児保育の一般化への経緯 3. 乳幼児保育及び子育て家庭に対する支援をめぐる社会的状況と課題 4. 保育所における乳幼児保育 5. 保育所以外の児童福祉施設(乳児院等)における乳幼児保育 6. 家庭的保育等における乳幼児保育 7. 3歳未満時の生活と環境 8. 3歳未満児の遊びと環境 9. 3歳以上児の保育に移行する時期の保育 10. 3歳未満時の発育・発達を踏まえた保育士等による援助や関わり 11. 3歳未満時の発育・発達を踏まえた保育における配慮 12. 乳幼児保育における計画・記録・評価とその意義 13. 職員間の連携・協働 14. 保護者との連携・協働 15. 乳幼児保育と子育て支援 | | |
| 教材にかかわる情報 | | | |
| 評価にかかわる情報 | レポート課題においての専門知識の理解、獲得及び思考表現により判定し評価する 科目試験の結果により判定し評価する | | |
| 実務経験のある教員による実践的授業 | 保育所保育士としての豊富な実務経験をふまえ講義を行う | | |

| 授業科目 | 乳児保育Ⅱ | 単位数 | 演習1単位 |
|-------------------|--|-----|-------|
| 担当教員 | 泊明希佳 | | |
| 教員略歴 | 鹿児島国際大学大学院福祉社会学研究科(博士前期課程修了) 平成29年度末まで、鹿児島県内保育所にて保育士として勤務後、平成30年度より本学こども学科専任講師として就任。免許・資格:保育士、幼稚園教諭、司書 | | |
| 授業目標 | 乳幼児保育の歩みと現状、乳幼児の発達上の特徴など、基本的な知識について学び、その意義や必要性を理解できるようにする。人としての基礎を培う大切な乳幼児期に関わる保育者の役割を理解し、適切な保育の計画や方法、保護者への支援の習得を目指す。 | | |
| 授業内容 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもと保育士等の関係の重要性 2. 子どもの主体性の尊重と自己の育ち① 3. 子どもの主体性の尊重と自己の育ち② 4. 子どもの一日の生活の流れ(デイリープログラム) 5. 生活の流れに沿った保育環境の作り方 6. 保育におけるリスクマネジメント(生活) 7. 保育におけるリスクマネジメント(遊び) 8. 3歳未満時の発育・発達を踏まえた生活の援助の実際 9. 3歳未満児の発育・発達を踏まえた遊びの援助の実際 10. 保育における個別配慮のあり方 11. 集団生活における配慮 12. 乳幼児と絵本(ファーストブック) 13. 乳幼児保育における指導計画(個別から集団へ) 14. 乳幼児保育における指導計画のあり方 15. 乳幼児保育の現状と課題 | | |
| 教材にかかわる情報 | | | |
| 評価にかかわる情報 | レポート課題においての専門知識の理解、獲得及び思考表現により判定し評価する 科目試験の結果により判定し評価する | | |
| 実務経験のある教員による実践的授業 | 保育所保育士としての豊富な実務経験をふまえて講義を行う | | |

| | | | |
|-------------------|--|-----|-------|
| 授業科目 | 障がい児保育 | 単位数 | 演習2単位 |
| 担当教員 | 下木猛史 | | |
| 教員略歴 | 学位:社会福祉学修士 平成元年～平成13年 児童心理治療施設「横浜いずみ学園」児童指導員 平成14年～平成29年 児童心理治療施設「鹿児島自然学園」総括主任 平成29年4月～神村学園専修学校こども学科専任教員(学科長) | | |
| 授業目標 | 障がい児保育を支える理念や歴史の変遷について学び、障がい児及びその保育について理解する。 個々の特性や心身の発達などに応じた援助や配慮について理解する 障がい児その他の特別な配慮を要する子どもの保育における計画の作成や援助の具体的な方法について理解する。 障がい児その他の特別な配慮を要する子どもへの家庭への支援や関係機関との連携について理解する 障がい児その他の特別な配慮を要する子どもの保育に関する現状と課題について理解する。 | | |
| 授業内容 | 1.障がいの概念と障がい児保育の歴史の変遷 2.障がいのある子どもとの統合保育と地域社会への参加 3.差別解消と合理的配慮 4.身体障がい児の理解と支援 5.知的、発達障害児の理解と支援 6.その他の障がい児の理解と支援 7.支援体制の構築 8.障がい児のコミュニケーション 9.障がい児と遊ぶ① 10.障がい児と遊ぶ② 11.障がい児保育の安全と健康 12.統合保育活動 13.支援体制づくりのために 14.障がい児の支援計画 15.障がい児保育の現状と課題 | | |
| 教材にかかわる情報 | 「障害児保育」豊岡短期大学配本テキスト | | |
| 評価にかかわる情報 | | | |
| 実務経験のある教員による実践的授業 | 情緒障害児短期治療施設(現:児童心理治療施設)に長年勤務し、心身に障害をかかえた子どもたちとのかかわりの経験をふまえた講義を行う | | |

| 授業科目 | 子育て支援 | 単位数 | 演習1単位 |
|-------------------|--|-----|-------|
| 担当教員 | 下木猛史 | | |
| 教員略歴 | 学位:社会福祉学修士 平成元年～平成13年 児童心理治療施設「横浜いずみ学園」児童指導員 平成14年～平成29年 児童心理治療施設「鹿児島自然学園」総括主任 平成29年4月～神村学園専修学校こども学科専任教員(学科長) | | |
| 授業目標 | 保育士の行う保育の専門性を背景とした保護者に対する相談・助言・情報提供・行動見本などの支援について、その特性と展開を具体的に理解し、身に付ける。 | | |
| 授業内容 | 1.保育所の特性を生かした子育て支援① 2.保育所の特性を生かした子育て支援② 3.保護者や家庭の抱える支援のニーズへの気づきと多面的な理解① 4.保護者や家庭の抱える支援のニーズへの気づきと多面的な理解② 5.保育所を利用している保護者に対する子育て支援① 6.保育所を利用している保護者に対する子育て支援② 7.社会資源の活用と自治体・関係機関や専門職との連携① 8.社会資源の活用と自治体・関係機関や専門職との連携② 9.保育士の行う子育て支援とその実際① 10.保育士の行う子育て支援とその実際② 11.地域の子育て家庭に対する支援① 12.地域の子育て家庭に対する支援② 13.子どもの虐待の要望と対応① 14.子どもの虐待の要望と対応② 15.多様な支援ニーズを抱える子育て家庭の理解 | | |
| 教材にかかわる情報 | 「保育所保育指針解説」、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」フレーベル館 適宜資料を配布します | | |
| 評価にかかわる情報 | 授業態度(20%)／ミニテスト(20%)／試験(50%)で総合的評価をします | | |
| 実務経験のある教員による実践的授業 | 児童福祉施設の総括主任として、家庭支援に長年携ってきた豊富な実務経験をふまえて講義を行う | | |

| | | | |
|-------------------|---|-----|-------|
| 授業科目 | 音楽表現論Ⅱ | 単位数 | 演習1単位 |
| 担当教員 | 柏木 祐香 | | |
| 教員略歴 | 広島大学教育学部を卒業後、音楽教育学を専攻し、鹿児島大学大学院教育実践総合専攻を修了(教育学修士)。中学校・高等学校教諭専修免許状(音楽)取得。 平成28年度まで中学校教諭として勤務し、平成29年4月より神村学園専修学校こども学科専任講師に就任。 | | |
| 授業目標 | 本授業では、感性と表現に関する領域「表現」を理解し、子どもの音楽表現の姿やその発達を促す要因、子どもの音楽的感性や創造性を豊かにするさまざまな音楽表現遊びや環境構成など、音楽表現指導に関する専門的知識・技能・表現力を身につけることを目標とする。 | | |
| 授業内容 | <p>第1回:領域「表現」の理解と音楽表現における乳幼児の発達過程</p> <p>第2回:「自然が生み出す音」「目で見える世界に存在する音」を取り入れた表現の理解</p> <p>第3回:イメージを表現する為の音や音階の理解</p> <p>第4回:領域「表現」を他領域との関連を考慮した音環境の理解</p> <p>第5回:身体及び言葉の中のリズム、生き物に見られる拍とリズムの理解と実践</p> <p>第6回:日本のこどものうたと歴史的背景の理解</p> <p>第7回:保育実践における豊かな表現を引き出す援助のあり方についての理解</p> <p>第8回:幼児用楽器の取扱いと正しい演奏法の理解と実践</p> <p>第9回:園行事等での器楽演奏を表現豊かなものにするための理解と実践</p> <p>第10、11回:身近な自然や身の周りの音を様々な組み合わせで表現する方法と実践</p> <p>第12回:部分指導案「身近な音をみつけて遊ぼう」の理解と立案</p> <p>第13回:乳幼児の音楽表現を可視化するための手法と理解</p> <p>第14回:保育現場に応じた音楽を和音(コード)で表現する方法の理解と実践</p> <p>第15回:音楽表現活動の家庭と園生活の繋がり、及び小学校に繋がる学びの理解とまとめ</p> | | |
| 教材にかかわる情報 | フレーベル館「幼稚園教育要領解説」 フレーベル館「保育所保育指針解説」 フレーベル館「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」 他 | | |
| 評価にかかわる情報 | | | |
| 実務経験のある教員による実践的授業 | 中学校教諭として音楽を教えていた経験や、幼児リミックの経験をふまえた講義を行う | | |

| 授業科目 | こどもと造形Ⅰ | 単位数 | 演習1単位 |
|-------------------|--|-----|-------|
| 担当教員 | 林 泰史 | | |
| 教員略歴 | 平成8年3月 金沢美術工芸大学大学院美術工芸研究科 修了 修士(芸術) 平成17年～平成29年 金沢美術工芸大学美術工芸学部工芸科 講師及び准教授 平成31年～令和2年 奈良保育学院保育科 常勤講師 令和2年～ 神村学園専修学校こども学科 専任講師 実務経験:株式会社キヨロク清水久兵衛アトリエ助手(平成8年～平成11年)林テーキン製作所企画開発室 総括(平成11年～平成17年)金沢工芸こども塾運営委員(平成22年～平成29年) | | |
| 授業目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児造形教育の指導、援助者として形や色等の造形の基礎的な知識及び技能について理解ができる。 ・えがく領域、つくる領域、造形あそびの領域の製作を通して、基礎的な知識及び技能について習得できる。 ・教材研究及び発表を行うことで思考力や表現力を高めることができる。 | | |
| 授業内容 | <ol style="list-style-type: none"> 1.幼児造形教育の重要性と研究の視点について 2.幼児造形(表現)の特徴・領域・道筋について 3.えがく領域に伴う制作① 4.えがく領域に伴う制作② 5.えがく領域に伴う制作③ 6.つくる領域に伴う制作① 7.つくる領域に伴う制作② 8.つくる領域に伴う制作③ 9.造形遊びの領域に伴う制作① 10.造形遊びの領域に伴う制作② 11.造形遊びの領域に伴う制作③ 12.作品の研究及び発表① 13.作品の研究及び発表② 14.幼児造形教育の課題について 15.まとめ | | |
| 教材にかかわる情報 | 「造形表現論」豊岡短期大学配本テキスト | | |
| 評価にかかわる情報 | | | |
| 実務経験のある教員による実践的授業 | 造形作家として、子どもたちの制作現場における指導に携わり、そこでの経験をふまえた講義を行う | | |

| | | | |
|-------------------|--|-----|---|
| 授業科目 | こどもと体育Ⅰ | 単位数 | 1 |
| 担当教員 | 高橋秀樹 | | |
| 教員略歴 | 2015年 米国ニューヨーク州サラローレンス大学大学院ダンス/ムーブメント療法学科(修士課程) 2020年 京都大学大学院医学系研究科人間健康科学系専攻脳機能リハビリテーション学発達障害リハビリテーション学 研究室(博士課程)単位取得修了 2018年4月～2020年3月 四国大学看護学科看護学部(国際看護)非常勤講師 2018年4月～2020年3月 四国大学大学院看護研究科(助産学実践演習)非常勤講師 2020年4月～ 神村学園専修学校こども学科 実務経験:レジステアセンター(平成27年6月～平成28年7月) B-tribeダンススクール(平成29年1月～令和2年3月) | | |
| 授業目標 | 運動遊びとこどもの成長発達との関係を理解し、運動遊びの種類と遊びのどの局面がこどもの心と身体や社会性の成長・発達にどのように役立つかを理解し、具体的な援助方法を習得する。同時に、こどもが楽しく、安全に遊びや運動遊びに取り組むための人的・物的環境についての理解を深める。 | | |
| 授業内容 | 1 ガイダンス 運動遊びのねらいと効果 2 社会的背景を配慮しつつ運動遊びの援助について 3 こどもの発達と運動について 4 運動遊びの基本的な動き 5 身体コントロール能力の向上 6 こどもの表現運動Ⅰ 7 発達段階と表現運動の実践 8 表現運動(運動遊び)における安全指導 | | |
| 教材にかかわる情報 | 「表現とこどもの運動」(学校法人弘徳学園)、「幼稚園教育要領解説」(フレーベル館)、「保育所保育指針解説」(フレーベル館)、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」(フレーベル館)、「子どもの発育発達と健康」(ナカニシヤ出版) | | |
| 評価にかかわる情報 | レポート課題において、専門知識の理解、獲得及び思考表現により判定し評価する。 科目試験において、成績評価を判定を行う。 | | |
| 実務経験のある教員による実践的授業 | ダンスムーブメント療法士として発達障害の子どもたちの治療に携わってきた経験をふまえた講義を行う | | |

| 授業科目 | こどもと言葉Ⅱ | 単位数 | 演習1単位 |
|-------------------|--|-----|-------|
| 担当教員 | 山口博恵 | | |
| 教員略歴 | 草苑学園草苑保育専門学校卒業 幼稚園教諭一種免許 学校法人キリスト教学園のぞみ幼稚園主任教諭、園長、鹿児島純心女子大学国際人間学部こども学科非常勤講師を経て平成27年より神村学園専修学校こども学科非常勤講師 | | |
| 授業目標 | <p>「人としての証」と言われる言葉について、乳幼児期の言葉の発達過程を理解することを目的とする。言葉を用いて思考し、人に話そうとする意欲、他人の話を聞く姿勢・態度、小学校の生活に必要な自己表現ができる「言葉」の獲得などについて理解することを目的とする。</p> <p>言葉遊び、文字体験などの活動を通して言葉に対する感覚、言葉の持つ美しさを認識し、さらに、物語や絵本、紙芝居などのイメージ体験を通して、日常的に使用する言葉以外の言葉の獲得の在り方について認識する。</p> | | |
| 授業内容 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 言葉とは何か・生活と言葉、言語環境としての保育者の言葉のありかた 2. 領域「言葉」の位置づけと他領域の関り 3. 領域「言葉」の指導上の留意点と評価 4. 0歳から5歳のおける言葉の発達、6歳児の就学に向けた取り組み 5. 言葉遊びに関する情報機器及び教材の活用法 6. わらべ歌、なぞなぞ、しりとり、ごっこ遊び、劇遊びなど、言葉遊びによる指導案作成、模擬保育 7. 言葉から文字へ 8. 文字体験としてのかかるた、双六、絵カードなどの作成及び模擬保育体験 9. 言葉の遅れや障害を持つ乳幼児のとらえ方と支援 10. 外国の子供との対応 11. 言語教材としての絵本の意義 12. 絵本とデジタル教材と保育現場の実際及び言語教材を用いた指導案の作成 13. 絵本、お話などの指導法と情報機器の利用について 14. 絵本、お話などの実践による指導案作成及び模擬保育 15. 言葉の年間授業計画と幼稚園、保育園、こども園と小学校との連携 | | |
| 教材にかかわる情報 | 「幼稚園教育要領解説」「保育所保育士指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 | | |
| 評価にかかわる情報 | 学習状況：レポート課題において専門知識の理解、獲得及び思考表現により評価 | | |
| 実務経験のある教員による実践的授業 | 幼稚園園長として、絵本を通した子どもの教育に長年取り組み、その実務経験をふまえた講義を行う | | |

| 授業科目 | 保育実践演習 | 単位数 | 演習2単位 |
|-------------------|---|-----|-------|
| 担当教員 | 別府一誠 | | |
| 教員略歴 | 早稲田大学大学院教育学研究科学校教育専攻修士(実践教育学)平成29年度まで、主に鹿児島県公立学校教員(中学校、特別支援学校)として勤務後、平成30年度より本学こども学科専任講師として就任。免許：中学校教諭専修免許状(社会)、高等学校教諭専修免許状(地理歴史)・(公民)、養護学校教諭1級免許状 資格：社会教育主事、社会福祉主事、知的障害者福祉司、児童福祉司、精神保健福祉相談員、児童相談員、家庭相談員、身体障害者福祉司(以上、任用資格) これまでの主な校務分掌：教務主任、学年主任、進路指導主任、社会科主任、特別支援教育コーディネーター等 | | |
| 授業目標 | これまでで形成された資質能力を確認し、これからの自己の課題の自覚と克服に努める。教職生活を円滑にスタートできるように、学校(保育)現場の視点に立った様々な場面でのリスクマネジメントや保育カンファレンス及び保育実技を通して、実践的指導力を身に付けることを目標とする。 | | |
| 授業内容 | <ol style="list-style-type: none"> 1 保育者という職業① 2 保育者という職業② 3 学級経営① 4 学級経営② 5 特別支援教育の基礎① 6 特別支援教育の基礎② 7 特別支援教育と保育者① 8 特別支援教育と保育者② 9 保育における集団の編成① 10 保育における集団の編成② 11 幼児教育の将来的展望① 12 幼児教育の将来的展望② 13 幼保小連携① 14 幼保小連携② 15 幼児教育のDVD鑑賞① 16 幼児教育のDVD鑑賞② 17 学級経営における臨床場面での保育者の対応(ロールプレイング)① 18 学級経営における臨床場面での保育者の対応(ロールプレイング)② 19 保育場面での対応と課題のある子どもの事例研究(レポート作成)① 20 保育場面での対応と課題のある子どもの事例研究(レポート作成)② 21 集団討論「教育課題の解決への保育者としてのアプローチ」① 22 集団討論「教育課題の解決への保育者としてのアプローチ」② 23 保育計画と模擬保育① 24 保育計画と模擬保育② 25 統合保育・異年齢保育に関わる課題と展望① 26 統合保育・異年齢保育に関わる課題と展望② 27 「幼保小連携」子どもの生活変化を踏まえた適切な指導の在り方① 28 「幼保小連携」子どもの生活変化を踏まえた適切な指導の在り方② 29 学習のまとめ、自己の振り返り、今後に向けての課題① 30 学習のまとめ、自己の振り返り、今後に向けての課題② | | |
| 教材にかかわる情報 | 「幼稚園教育要領解説」(フレーベル館)、「保育所保育指針解説」(フレーベル館)、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」(フレーベル館) | | |
| 評価にかかわる情報 | | | |
| 実務経験のある教員による実践的授業 | 長年、中学校や特別支援学校で教鞭をとり、広い視点で教育分野をみてきた豊富な実務経験をふまえた講義を行う | | |

| | | | |
|-------------------|--|-----|-------|
| 授業科目 | 保育者論 | 単位数 | 講義2単位 |
| 担当教員 | 笠野 恵子 | | |
| 教員略歴 | 平成29年 鹿児島国際大学福祉社会学研究科博士後期課程 修了 平成21年～平成27年 神村学園専修学校こども学科 専任講師、学科長 平成27年～平成31年 中九州短期大学幼児保育学科 教授、学科長 平成31年～現在 第一幼児短期大学 教授 保育士、幼稚園教諭専修免許状、高校福祉専修免許状 実務経験:霧島市立横川保育所保育士(昭和53年～57年) 霧島市立佐々木保育所所長代理・主任保育(昭和57年～59年) | | |
| 授業目標 | 現代社会における教職の重要性の高まりを背景に、教職(保育)の意義、教職者(保育者)の役割・資質能力・職務内容などについての理解を深める。さらに、教職(保育)は、こどもの成長発達に指導・援助する仕事であることを理解し、教育(保育)への課題に関心を持ち、授業にかかわる専門性について学ぶとともに、あるべき教育(保育)のビジョンを明確にすることを主要なテーマにし、自分が目指す教職者像の確立を図る。 | | |
| 授業内容 | 1. 教職(保育)の意義・定義・教職(保育)者とは 2. 教職(保育)者に求められる資質能力 3. 教員(保育者)養成の歴史 4. 教職(保育)者資質と役割 5. 指導計画 6. 教職(保育)者の仕事・義務・研修 7. 教職(保育)者の職場環境 8. 教職者の制度的な位置づけ 9. 教職者の任用と服務 10. 教育(保育)現場における子どもとのかかわり 11. 教育(保育)現場における家庭との連携 12. 教育(保育)親の変遷と教員(保育者)の役割 13. 職員間の連携、保育園、幼稚園、小学校との連携 14. 今日的教育課題に対応するために 15. よい教職者(保育者)のなるために | | |
| 教材にかかわる情報 | 「幼稚園教育要領解説」「保育所保育士指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 | | |
| 評価にかかわる情報 | | | |
| 実務経験のある教員による実践的授業 | 長年、保育所保育士として保育分野に携わってきた豊富な経験をふまえた講義を行う | | |

| 授業科目 | 保育課程論 | 単位数 | 講義2単位 |
|-------------------|--|-----|-------|
| 担当教員 | 笠野 恵子 | | |
| 教員略歴 | 平成29年 鹿児島国際大学福祉社会学研究科博士後期課程 修了 平成21年～平成27年 神村学園専修学校こども学科 専任講師、学科長 平成27年～平成31年 中九州短期大学幼児保育学科 教授、学科長 平成31年～現在 第一幼児短期大学 教授 保育士、幼稚園教諭専修免許状、高校福祉専修免許状 実務経験:霧島市立横川保育所保育士(昭和53年～57年) 霧島市立佐々木保育所所長代理・主任保育(昭和57年～59年) | | |
| 授業目標 | 保育の内容の充実と質の向上に資する教職課程・保育過程について理解する 教育課程・保育過程の編成と指導計画の作成について、意義や方法を具体的に習得する 編成・実践・点検・評価・改善の過程についてその全体像を能動的にとらえる 保護者や関係機関との連携について学ぶ | | |
| 授業内容 | 1. 教育課程・保育過程編成の基本的な考え方 2. カリキュラムの基礎理論 3. 日本における教育課程・各国の教育課程の変遷 4. 事態の変化に応じた幼稚園の教育課程の在り方、編成と評価 5. 教育課程の法と行政 6. 学習指導要領の変遷とその特色 7. 園での生活と長期・短期の指導計画 8. 教育課程・保育過程の変遷の実際 9. 保育の基本と実践 10. 学びをつなぐ幼稚園保育園小学校連携プログラム 11. 明治・大正・昭和の保育の歴史 12. 危機管理保育のカリキュラムの意義と必要性 13. 幼稚園教育要領・保育所保育指針の変遷 14. 教育課程をめぐる問題 15. 信頼される園づくりと学校評議員制度 | | |
| 教材にかかわる情報 | 「幼稚園教育要領解説」「保育所保育士指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 「教育過程論」豊岡短期大学配本テキスト 「教育課程・保育計画総論」 | | |
| 評価にかかわる情報 | | | |
| 実務経験のある教員による実践的授業 | 長年、保育所保育士として保育分野に携わってきた豊富な経験をふまえた講義を行う | | |

| 授業科目 | 保育指導法 | 単位数 | 演習1単位 |
|-------------------|--|-----|-------|
| 担当教員 | 西田紀代子 | | |
| 教員略歴 | 鹿児島国際大学大学院 福祉社会学研究科博士課程 満期退学 修士(福祉学) 第一幼児教育短期大学講師、鹿児島純心女子短期大学こども学科非常勤講師を経て、平成28年4月から神村学園専修学校こども学科非常勤講師 保育士、初級教育カウンセラー、幼稚園教諭専修免許、保育心理士一種 宗教法人法隆寺新光保育園保育士(昭和50年～51年) 国分市立西保育園(昭和57年～59年) 学校法人法隆寺学園国分幼稚園主任(昭和59年～平成12年) | | |
| 授業目標 | 保育方法の基本的な考え方を理解し、現場で生かすことができる力や指導力の基礎を身につける。又、自分の行っている保育の方法が、子どもにとってふさわしいかどうかを見る力を養い、自分なりに保育を工夫したり新しい保育に挑戦したりする、意欲や力を身につける。 | | |
| 授業内容 | 1. 保育の方法 2. 三園の比較 3. 環境による保育の必要性 4. 子どもにおける環境とは何か 5. 幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿 6. 基本的生活習慣① 7. 基本的生活習慣② 8. 遊びとは何か 9. 遊びを通しての総合指導 10. 保育の形態 11. 指導計画と実践 12. 指導案の作成 13. 行事と保育 14. 生涯のある子どもの保育 15. 家庭・地域・小学校との連携を生かした保育 | | |
| 教材にかかわる情報 | 「幼稚園教育要領解説」「保育所保育士指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 | | |
| 評価にかかわる情報 | 学習状況:レポート課題において専門知識の理解、獲得及び思考表現により評価 | | |
| 実務経験のある教員による実践的授業 | 長年、保育所保育士、また幼稚園教務としてとして保育・教育分野に携わってきた豊富な経験をふまえた講義を行う | | |

| | | | |
|-------------------|--|-----|-------|
| 授業科目 | こどもと音楽Ⅰ | 単位数 | 演習2単位 |
| 担当教員 | 柏木 祐香 | | |
| 教員略歴 | 広島大学教育学部を卒業後、音楽教育学を専攻し、鹿児島大学大学院教育実践総合専攻を修了(教育学修士)。中学校・高等学校教諭専修免許状(音楽)取得。 平成28年度まで中学校教諭として勤務し、平成29年4月より神村学園専修学校こども学科専任講師に就任。 | | |
| 授業目標 | こどもの豊かな感性を育むために、毎日の保育でさまざまな音楽に触れることは大変重要である。それに伴い、保育者にとってピアノでの童謡や生活曲の伴奏は、必要不可欠な保育技術の一つである。 本科目では、毎日の生活の中で歌われる歌や季節や行事に関連した歌など、保育現場で使用される様々な楽曲の歌と伴奏を習得することを目指す。1対1の個人レッスンまたはグループレッスン形式で行い、弾き歌いで演奏できることを最終目標とする。 | | |
| 授業内容 | 第1回:オリエンテーション、個人練習 第2～14回:個人またはグループ実技指導 第15回:中間実技試験 第16～29回:個人またはグループ実技指導 第30回:最終実技試験 | | |
| 教材にかかわる情報 | 鹿児島市立幼稚園協会編「うたとあそび」 小林美実編「こどものうた200」 その他童謡楽譜集を各自で用意する。 | | |
| 評価にかかわる情報 | 平常点:3割、実技試験:7割 で評価します。 | | |
| 実務経験のある教員による実践的授業 | 中学校教諭として音楽を教えていた経験や、幼児リミックの経験をふまえた講義を行う | | |

| 授業科目 | こどもと造形Ⅱ | 単位数 | 演習1単位 |
|-------------------|--|-----|-------|
| 担当教員 | 林 泰史 | | |
| 教員略歴 | 平成8年3月 金沢美術工芸大学大学院美術工芸研究科 修了 修士(芸術) 平成17年～平成29年 金沢美術工芸大学美術工芸学部工芸科 講師及び准教授 平成31年～令和2年 奈良保育学院保育科 常勤講師 令和2年～ 神村学園専修学校こども学科 専任講師 実務経験:株式会社キヨロク清水久兵衛アトリエ助手(平成8年～平成11年)林テーキン製作所企 総括(平成11年～平成17年)金沢工芸こども塾運営委員(平成22年～平成29年) | | |
| 授業目標 | ・保育指導法「表現」のねらいと内容等に基づいた保育の基本について理解できる。 ・乳幼児の表現活動の大切さと表現にともなう形、色、材質、手法、材料等について理解できる。 ・乳幼児のえがく、つくる造形活動について、発達段階を踏まえた材料や手法の取り扱いと指導援助について理解できる。 | | |
| 授業内容 | 1 教育・保育要領における「表現」領域を踏まえた幼児造形表現の学習 2 こどもの発達段階とえがく、つくる、造形あそびの造形活動の意義 3 こどもの発達段階を踏まえた、えがく、つくる、造形あそびの特徴と指導、援助、評価 4 えがく活動における形態・色彩の理論 5 えがく活動における絵画技法、製作内容と材料・用具 6 えがく活動における絵画技法、製作内容と材料・用具 7 えがく活動における絵画技法、製作内容と材料・用具 8 つくる活動における技法と活用、素材(廃材)、製作内容と材料・用具 9 つくる活動における技法と活用、素材(廃材)、製作内容と材料・用具 10 つくる活動における技法と活用、素材(廃材)、製作内容と材料・用具 11 造形あそびにおける各種表現技法、製作内容と材料・用具 12 造形あそびにおける各種表現技法、製作内容と材料・用具 13 造形あそびにおける各種表現技法、製作内容と材料・用具 14 実践的な指導法の学習と情報機器及び教材の活用 15 美術の歴史的展開の概説及び乳幼児造形教育の課題とまとめ | | |
| 教材にかかわる情報 | 「造形表現論」豊岡短期大学通信教育部配本テキスト 「幼稚園教育要領解説」(最新版)(フレーベル館)、「保育所保育指針」(最新版)(フレーベル館) 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」(最新版)(フレーベル館) | | |
| 評価にかかわる情報 | レポート課題においての専門知識の理解、獲得及び思考表現により判定し評価する。 | | |
| 実務経験のある教員による実践的授業 | 造形作家として、子どもたちの制作現場における指導に携わり、そこで経験をつまえた講義を行う | | |

| | | | |
|-------------------|---|-----|-------|
| 授業科目 | 保育実習指導Ⅰ | 単位数 | 演習2単位 |
| 担当教員 | 泊明希佳 | | |
| 教員略歴 | 鹿児島国際大学大学院福祉社会学研究科(博士前期課程修了) 平成29年度末まで、鹿児島県内保育所にて保育士として勤務後、平成30年度より本学こども学科専任講師として就任。免許・資格:保育士、幼稚園教諭、司書 | | |
| 授業目標 | 実習の意義・目的を理解し、今までの学びを考えながら、子どもをどう援助していくか演習を通して考える。実習の流れと心得をテキストを中心に学び、自分の実習課題を考える。(演習)保育指導案・実習日誌の書き方を学ぶ。事後指導では、実習の振り返り・自己評価を行い新たな課題や目標を設定する。 | | |
| 授業内容 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 実習の意義・目的を理解する 2. 保育所とは何か、その現状と課題 3. 新保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領 4. 保育所の職場構成と連携 5. 社会人のマナー ほうれんそう(報告・連絡・相談)の重要性 6. 乳幼児の年齢別発達の特徴 7. 緊急時の対応(ケガ・地震・火事等)、事故予防について 8. 実習の種類(参観実習・参加実習・責任実習)とは何か 9. 実習日誌の書き方・保育指導案の立て方 10. 保育技術の利用 絵本の読み方・手遊びの仕方・ピアノ等 11. 児童福祉施設の種別および特徴 12. 社会的養護の原理・原則および支援について 13. プライバシーの保護と守秘義務 14. 児童福祉施設の他職種および他機関との連携の仕方 15. 事後学習 実習の総括と自己評価 新たな課題や自己目標の明確化 | | |
| 教材にかかわる情報 | | | |
| 評価にかかわる情報 | レポート課題における専門知識の理解、獲得及び思考表現により判定し評価する 科目試験の結果により判定し評価する | | |
| 実務経験のある教員による実践的授業 | 保育所保育士としての豊富な実務経験をふまえて講義を行う | | |

| 授業科目 | 保育実習指導Ⅱ | 単位数 | 演習1単位 |
|-------------------|---|-----|-------|
| 担当教員 | 泊明希佳 | | |
| 教員略歴 | 鹿児島国際大学大学院福祉社会学研究科(博士前期課程修了) 平成29年度末まで、鹿児島県内保育所にて保育士として勤務後、平成30年度より本学こども学科専任講師として就任。免許・資格:保育士、幼稚園教諭、司書 | | |
| 授業目標 | 保育現場での実践を、自分のものとして身につけられることをねらいとする。他授業で学んだ知識および保育実習Ⅰで学んだ内容を振り返り、実習で生かせるように準備する。 また、保育の援助技術とは何かについて理解し、実習を通して、保育の援助技術を自分のものとして身につけ、専門性を高められるようにする。そして、それらのねらいの全てが子どもの「最善の利益を保証する」ためのものであることを確認する。 | | |
| 授業内容 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 保育実習Ⅰの振り返りと実践的な事故課題の決定 (何々について研究的に学びたい、頑張りたい等の決意) 2. 保育知識のおさらいと実習で身につけてきてほしいこと ・子どもの発達 3. 保育知識のおさらいと実習で身につけてきてほしいこと ・5領域のねらいと現場での視点 4. 保育知識のおさらいと実習で身につけてきてほしいこと ・子どもの基本的な生活習慣の獲得 5. 保育知識のおさらいと実習で身につけてきてほしいこと ・保育支援 6. 保育知識のおさらいと実習で身につけてきてほしいこと ・遊びを展開するための知識と環境設定 7. 保育知識のおさらいと実習で身につけてきてほしいこと ・子どもの心に寄り添う保育 8. 保育知識のおさらいと実習で身につけてきてほしいこと ・環境構成の技術 9. 保育知識のおさらいと実習で身につけてきてほしいこと ・人間関係構築の技術 10. 責任実習に向けての保育指導案の立案の方法 11. 責任実習実施のための留意点 12. 実習中の諸注意のまとめ ・保育者としての倫理 13. 実習中の諸注意のまとめ ・守秘義務 14. 実習中の諸注意のまとめ ・プライバシーの保護 15. 実習の振り返り | | |
| 教材にかかわる情報 | 「乳幼児保育Ⅰ」(配本テキスト) 「保育所保育指針解説」(最新版)(フレーベル館) 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」(最新版)(フレーベル館) | | |
| 評価にかかわる情報 | | | |
| 実務経験のある教員による実践的授業 | 保育所保育士としての豊富な実務経験をふまえ実習指導を行う | | |

| 授業科目 | 保育実習指導Ⅲ | 単位数 | 演習1単位 |
|-------------------|---|-----|-------|
| 担当教員 | 下木猛史 | | |
| 教員略歴 | 学位:社会福祉学修士 平成元年～平成13年 児童心理治療施設「横浜いずみ学園」児童指導員 平成14年～平成29年 児童心理治療施設「鹿児島自然学園」総括主任 平成29年4月～神村学園専修学校こども学科専任教員(学科長) | | |
| 授業目標 | 児童福祉施設における保育者の専門性について理解する 児童福祉施設に暮らす子どもや親について理解する 社会福祉以外の社会福祉施設について知る 老人施設・障害者福祉における保育者の役割などを簡単に理解する 施設内の連携、他機関のとの連携について理解する 学習の事後指導を通して実習の総括と自己評価を行い、保育に対する課題を明確にする | | |
| 授業内容 | 1.児童福祉施設の施設種の理解① 2.児童福祉施設の施設種の理解② 3.社会的養護の現状について① 4.社会的養護の現状について② 5.自分の行く実習施設種を中心とした実習施設の現状と問題点① 6.自分の行く実習施設種を中心とした実習施設の現状と問題点② 7.児童福祉施設における子どもの支援、親支援の現状について 8.乳児院・児童福祉施設などへの入所理由の理解と子ども支援・親支援の実際 9.障がいの特徴と支援上の留意点 10.老人関係の施設種と老人の福祉について 11.社会的弱者支援の基本を知る① 12.社会的弱者支援の基本を知る② 13.個別支援計画と他機関の連携について① 14.個別支援計画と他機関の連携について② 15.事後指導における実習の総括と評価 | | |
| 教材にかかわる情報 | 「乳幼児保育Ⅰ」(配本テキスト) 「保育所保育指針解説」(最新版)(フレーベル館) 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」(最新版)(フレーベル館) | | |
| 評価にかかわる情報 | | | |
| 実務経験のある教員による実践的授業 | 児童福祉施設の児童指導員としての豊富な実務経験をふまえた実習指導を行う | | |

| | | | |
|-------------------|---|-----|-------|
| 授業科目 | 音楽表現論Ⅰ | 単位数 | 演習1単位 |
| 担当教員 | 柏木 祐香 | | |
| 教員略歴 | 広島大学教育学部を卒業後、音楽教育学を専攻し、鹿児島大学大学院教育実践総合専攻を修了(教育学修士)。中学校・高等学校教諭専修免許状(音楽)取得。 平成28年度まで中学校教諭として勤務し、平成29年4月より神村学園専修学校こども学科専任講師に就任。 | | |
| 授業目標 | 保育者には、子どもの遊びを豊かに展開するために音楽表現に関する知識や技術の習得が必要となる。本科目では、主に音楽理論について学習し、音楽の持つ様々な要素を、身体全体を使った動きで体験し、基礎的な音楽の理解を高める。 | | |
| 授業内容 | <p>第1回:オリエンテーション</p> <p>第2回:音楽の3要素</p> <p>第3,4回:読譜について</p> <p>第5,6回:記譜について</p> <p>第7,8回:音符と休符</p> <p>第9,10回:リズムと拍子</p> <p>第11,12回:音階と調</p> <p>第13,14回:和音とコード</p> <p>第15回:最終筆記試験</p> | | |
| 教材にかかわる情報 | | | |
| 評価にかかわる情報 | | | |
| 実務経験のある教員による実践的授業 | 中学校教諭として音楽を教えていた経験や、幼児リミックの経験をふまえた講義を行う | | |

| 授業科目 | 卒業研究ゼミナール | | 単位数 | 演習2単位 |
|-------------------|---|--|-----|-------|
| 担当教員 | こども学科専任教員全員にて指導 | | | |
| 教員略歴 | <p>下木猛史: 児童心理治療施設「横浜いずみ学園」児童指導員・主任児童指導員(平成元年～平成13年) 児童心理治療施設「鹿児島自然学園」総括主任(平成13年～29年)</p> <p>柏木祐香: 広島市公立学校教員(中学校音楽)(平成24年4月～平成28年7月) 神村学園附属幼稚園 音楽会指導員・補助員 (平成29年4月～現在)</p> <p>別府一誠: 鹿児島県公立学校教員(中学校、特別支援学校)教務主任、学年主任、進路指導主任、社会科主任、特別支援教育コーディネーター等(平成6年～平成29年)</p> <p>泊明希佳: 社会福祉法人真和会「阿多こども園」保育士(平成21年～平成29年)</p> <p>高橋秀樹: 社会医療福祉施設「レジストケアセンター」(平成27年6月～平成28年7月) ダンス/ムーブメント療法士 B-tribeダンススクール(平成29年1月～令和2年3月) 身体運動表現指導者・ダンス/ムーブメント療法士</p> <p>林 泰史: 株式会社キヨロク清水久兵衛アトリエ助手(平成8年～平成11年) 林テーキン製作所企画開発室総括(平成11年～平成17年) 金沢工芸こども塾運営委員(平成22年～平成29年)</p> | | | |
| 授業目標 | <p>学生が研究課題を選択し、担当教員の指導の下、課題についての調査や分析を通して、物事を客観的、科学的に捉え考察していく。それらの研究活動を通して、将来、保育現場で活かせる視点や能力を養う。</p> | | | |
| 授業内容 | <p>各実務家教員がゼミナールのテーマを決め、それぞれのテーマを希望した学生に計30回のゼミナール演習を実施する。ゼミナール指導を通し、それぞれのテーマについて研究レポートをまとめる。</p> | | | |
| 教材にかかわる情報 | | | | |
| 評価にかかわる情報 | | | | |
| 実務経験のある教員による実践的授業 | <p>福祉・教育(音楽)・教育(特別支援)・保育・造形・身体それぞれの分野での実務経験をふまえたゼミナール演習を行う</p> | | | |

| | | | |
|-------------------|---|-----|---|
| 授業科目 | 社会的養護Ⅱ | 単位数 | 1 |
| 担当教員 | 下木猛史 | | |
| 教員略歴 | 学位:社会福祉学修士 平成元年～平成13年 児童心理治療施設「横浜いずみ学園」児童指導員 平成14年～平成29年 児童心理治療施設「鹿児島自然学園」総括主任 平成29年4月～神村学園専修学校こども学科専任教員(学科長) | | |
| 授業目標 | 子どもの理解を踏まえた社会的養護の基礎内容について具体的に理解する 施設擁護及び家庭擁護の実際について理解する 社会的養護における計画・記録・自己評価の実際について理解する 社会的養護にかかわる相談援助の方法・技術について理解する 社会的養護における子どもの虐待の防止と家庭支援について理解する | | |
| 授業内容 | 1. オリエンテーション 2. 社会的養護の理念と機能 3. 社会的養護を必要とする子どもの権利 4. 社会的養護にかかわる保育士の役割 5. 施設における支援の実際(アドミッションケア) 6. 施設における支援の実際(インケア1) 7. 施設における支援の実際(インケア2) 8. 施設における支援の実際(リービングケア) 9. 施設における支援の実際(アフターケア) 10. 社会的養護にかかわる相談支援 11. 記録及び評価 12. ケーススタディ 13. ケーススタディ 14. ケーススタディ 15. まとめ | | |
| 教材にかかわる情報 | 「社会的養護Ⅰ」豊岡短期大学配本テキスト 演習・保育と社会的養護実践 みらい | | |
| 評価にかかわる情報 | 授業態度(20%)／ミニテスト(20%)／試験(50%)で総合的評価をします | | |
| 実務経験のある教員による実践的授業 | 長年、児童福祉施設に勤務し、社会的養護をもとで生活する子どもたちとかかわってきた豊富な実務経験をふまえて講義を行う | | |

| | | | |
|-------------------|--|-----|-------|
| 授業科目 | こどもと言葉Ⅰ | 単位数 | 講義2単位 |
| 担当教員 | 山口 博恵 | | |
| 教員略歴 | 昭和44年 草苑学園草苑保育専門学校卒業、幼稚園教諭一種免許状 平成18年～平成20年 学校法人西薩キリスト学園のぞみ幼稚園園長 平成24年～平成26年 国際人間学部こども学科 保育内容「言葉と保育理論と方法」 平成28年～現在 神村学園専修学校こども学科 保育内容演習Ⅳ(言葉)、表現技術Ⅳ(児文) | | |
| 授業目標 | 本授業は、保育所保育指針や幼稚園教育要領が求める領域「言葉」を踏まえたうえで、児童文化財が子どもの言葉の習得にどのように役立つのかを理解し、保育の現場で使用する絵本、紙芝居、おはなしなどの児童文化財を利用しての言葉の理解を目的とする。 | | |
| 授業内容 | 1. 人間とことば、幼児とことば 2. 乳幼児期のことばの発達と保育者の役割 3. 保育所保育指針 4. 幼稚園教育要領 5. 児童文化財とは 6. 絵本 7. 紙芝居 8. おはなし 9. ペープサート 10. シアター 11. ことばに対する感覚を養う児童文化財 12. わらべうたあそび、ことばあそび 13. ことばを育む教材の範囲 14. ことばを育む教材研究 15. 保幼小連携について | | |
| 教材にかかわる情報 | 「幼稚園教育要領解説」「保育所保育士指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 「言葉とこどもの文化」豊岡短期大学配本テキスト | | |
| 評価にかかわる情報 | 学習状況:レポート課題において専門知識の理解、獲得及び思考表現により評価 | | |
| 実務経験のある教員による実践的授業 | 幼稚園園長として、絵本を通した子どもの教育に長年取り組み、その実務経験をふまえた講義を行う | | |

| 授業科目 | 特別支援教育 | 単位数 | 講義2単位 |
|-------------------|---|-----|-------|
| 担当教員 | 別府一誠 | | |
| 教員略歴 | 早稲田大学大学院教育学研究科学校教育専攻修士(実践教育学)平成29年度まで、主に鹿児島県公立学校教員(中学校、特別支援学校)として勤務後、平成30年度より本学こども学科専任講師として就任。免許：中学校教諭専修免許状(社会)、高等学校教諭専修免許状(地理歴史)・(公民)、養護学校教諭1級免許状 資格：社会教育主事、社会福祉主事、知的障害者福祉司、児童福祉司、精神保健福祉相談員、児童相談員、家庭相談員、身体障害者福祉司(以上、任用資格) これまでの主な校務分掌：教務主任、学年主任、進路指導主任、社会科主任、特別支援教育コーディネーター等 | | |
| 授業目標 | 特別な教育的ニーズを有する子どもが幼稚園・保育所の中でそれぞれの自主性・自発性を発揮し、生きる力の基礎を培うために、特別な教育的ニーズのある子どもの生活上及び認知機能における困難を理解し、個別の教育的ニーズに対して関係機関と連携しながら組織的に対応していくために必要な知識や支援方法を理解することを目標とする。 | | |
| 授業内容 | 1 特別な教育的ニーズをもつ子どもへの教育課程 ① 特別な教育的ニーズとは何か 2 " ② 特別支援教育課程と学びの場 3 発達障害や軽度知的障害のある子どもの特性 ① 発達障害や軽度知的障害の心と体の育ち 4 " ② 子ども一人一人のニーズに合わせた学び 5 視覚障害・聴覚障害・知的障害・肢体不自由・病弱等を含む様々な障害児の特性 ① 多様な子どものニーズの理解 6 " ② 多様な子どもの学びと生活 7 子どものニーズに合わせた支援 ① 教育課程における支援 8 " ② 通常学級における担任による支援 9 教育チームによる組織的支援 ① 個別の指導計画及び個別の教育支援計画 10 " ② アセスメントに基づく計画と評価 11 特別支援教育コーディネーター ① 特別支援教育コーディネーターの役割 12 " ② 外部教育資源との連携と協働 13 保護者・家庭を取り巻く問題 ① 保護者・家庭を取り巻く問題 14 " ② 保護者・家庭とのつながりの重要性 15 特別な教育ニーズを考える ① 母国語や貧困の問題等による教育的ニーズの理解 | | |
| 教材にかかわる情報 | 「教育原理」(配本テキスト) 「幼稚園教育要領解説」(フレーベル館)、「保育所保育指針解説」(フレーベル館)、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」(フレーベル館) | | |
| 評価にかかわる情報 | | | |
| 実務経験のある教員による実践的授業 | 長年、中学校や特別支援学校で教鞭をとり、広い視点で教育分野をみてきた豊富な実務経験を活かした講義を行う | | |

| | | | |
|-------------------|--|-----|-------|
| 授業科目 | 器楽Ⅰ | 単位数 | 演習1単位 |
| 担当教員 | 柏木／榎田 | | |
| 教員略歴 | 広島大学教育学部を卒業後、音楽教育学を専攻し、鹿児島大学大学院教育実践総合専攻を修了(教育学修士)。中学校・高等学校教諭専修免許状(音楽)取得。 平成28年度まで中学校教諭として勤務し、平成29年4月より神村学園専修学校こども学科専任講師に就任。 | | |
| 授業目標 | 保育に従事する者として必要なピアノの技術習得を目指す。演奏する上で重要な姿勢、手の形、楽譜の読み方、フレージングや表現方法などを、バイエル教則本などの練習曲を用いて1対1の個人レッスン形式またはグループレッスン形式で行う。 | | |
| 授業内容 | <p>第1回:オリエンテーション、個別指導による課題設定</p> <p>第2～11回:個別指導</p> <p>第12、13回:グループ指導(聴講)</p> <p>第14回:個別指導</p> <p>第15回:最終実技試験</p> | | |
| 教材にかかわる情報 | 標準バイエルピアノ教則本、ブルグミュラー25の練習曲、ソナチネアルバム1 他 | | |
| 評価にかかわる情報 | | | |
| 実務経験のある教員による実践的授業 | 中学校教諭として音楽を教えていた経験や、幼児リミックの経験をふまえた講義を行う | | |

| | | | |
|-------------------|--|-----|-------|
| 授業科目 | 器楽Ⅱ | 単位数 | 演習1単位 |
| 担当教員 | 柏木／榎田 | | |
| 教員略歴 | 広島大学教育学部を卒業後、音楽教育学を専攻し、鹿児島大学大学院教育実践総合専攻を修了(教育学修士)。中学校・高等学校教諭専修免許状(音楽)取得。 平成28年度まで中学校教諭として勤務し、平成29年4月より神村学園専修学校こども学科専任講師に就任。 | | |
| 授業目標 | 保育に従事する者として必要なピアノの技術習得を目指す。演奏する上で重要な姿勢、手の形、楽譜の読み方、フレージングや表現方法などを、器楽Ⅰで習得した技術を応用させながら1対1の個人レッスン形式またはグループレッスン形式で行う。 | | |
| 授業内容 | <p>第1回:オリエンテーション、個別指導による課題設定</p> <p>第2～11回:個別指導</p> <p>第12、13回:グループ指導(聴講)</p> <p>第14回:個別指導</p> <p>第15回:最終実技試験</p> | | |
| 教材にかかわる情報 | 標準バイエルピアノ教則本、ブルグミュラー25の練習曲、ソナチネアルバム1 他 | | |
| 評価にかかわる情報 | 平常点:3割、実技試験:7割 で評価します。 | | |
| 実務経験のある教員による実践的授業 | 中学校教諭として音楽を教えていた経験や、幼児リミックの経験をふまえた講義を行う | | |

| | | | |
|-------------------|--|-----|-------|
| 授業科目 | こどもと人間関係 | 単位数 | 講義2単位 |
| 担当教員 | 中村誠文 | | |
| 教員略歴 | 鹿児島純心女子大学国際人間学部こども学科/大学院人間科学研究科心理臨床学専攻 講師 臨床心理士 専門分野:家族療法・短期療法 | | |
| 授業目標 | 現代のこどもの人間関係の育ちに影響を与えている社会的要因について理解し、幼児教育や保育の中で保証すべき教育内容に関する知識を身に付ける。こどもを取り巻く他者との関係、集団との関係から、こどもの人間関係を考察し、乳幼児が人との関りを通じて育つことを理解する。 | | |
| 授業内容 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 領域「人間関係」① 2. 領域「人間関係」② 3. 人間関係と取り巻く社会環境① 4. 人間関係と取り巻く社会環境② 5. 人間関係と取り巻く社会環境③ 6. 人間関係と取り巻く社会環境④ 7. 人間関係をつむぐ子どもの発達① 8. 人間関係をつむぐ子どもの発達② 9. 人間関係をつむぐ子どもの発達③ 10. 人間関係をつむぐ子どもの発達④ 11. 人間関係とこどもの遊び① 12. 人間関係とこどもの遊び② 13. 人間関係とこどもの生活① 14. 人間関係とこどもの生活② 15. 今日的な人間関係の課題 | | |
| 教材にかかわる情報 | 「幼稚園教育要領解説」「保育所保育士指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 「人間関係論」豊岡短期大学配本テキスト | | |
| 評価にかかわる情報 | | | |
| 実務経験のある教員による実践的授業 | スクールカウンセラーや保健センターにて長年、心理相談業務に臨床心理士として携わってきた豊富な経験をふまえた講義を行う | | |

| 授業科目 | こどもと体育 II | 単位数 | 演習1単位 |
|-------------------|--|-----|-------|
| 担当教員 | 高橋秀樹 | | |
| 教員略歴 | 2015年 米国ニューヨーク州サラローレンス大学大学院ダンス/ムーブメント療法学科(修士課程) 2020年 京都大学大学院医学系研究科人間健康科学系専攻脳機能リハビリテーション学発達障害リハビリテーション学 研究室(博士課程)単位取得修了 2018年4月～2020年3月 四国大学看護学科看護学部(国際看護)非常勤講師 2018年4月～2020年3月 四国大学大学院看護研究科(助産学実践演習)非常勤講師 2020年4月～ 神村学園専修学校こども学科 実務経験:レジステアセンター(平成27年6月～平成28年7月) B-tribeダンススクール(平成29年1月～令和2年3月) | | |
| 授業目標 | 運動遊びとこどもの成長発達との関係を理解し、運動遊びの種類と遊びのどの局面がこどもの心と身体や社会性の成長・発達にどのように役立つかを理解し、具体的な援助方法を習得する。同時に、こどもが楽しく、安全に遊びや運動遊びに取り組むための人的・物的環境についての理解を深める。 | | |
| 授業内容 | 1 ガイダンス 2 固定遊具の遊び 3 遊具を使った遊び① 4 遊具を使った遊び② 5 大型遊具を使った遊び 6 サーキット遊び 7 身体表現による伝承遊び① 8 身体表現による伝承遊び② | | |
| 教材にかかわる情報 | 「表現とこどもの運動」(学校法人弘徳学園)、「幼稚園教育要領解説」(フレーベル館)、「保育所保育指針解説」(フレーベル館)、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」(フレーベル館)、「子どもの発育発達と健康」(ナカニシヤ出版) | | |
| 評価にかかわる情報 | | | |
| 実務経験のある教員による実践的授業 | ダンスムーブメント療法士として発達障害の子どもたちの治療に携わってきた経験をふまえた講義を行う | | |

| | | | |
|-------------------|--|-----|-------|
| 授業科目 | こどもと音楽Ⅱ | 単位数 | 演習1単位 |
| 担当教員 | 柏木 祐香 | | |
| 教員略歴 | 広島大学教育学部を卒業後、音楽教育学を専攻し、鹿児島大学大学院教育実践総合専攻を修了(教育学修士)。中学校・高等学校教諭専修免許状(音楽)取得。 平成28年度まで中学校教諭として勤務し、平成29年4月より神村学園専修学校こども学科専任講師に就任。 | | |
| 授業目標 | こどもの豊かな感性を育むために、毎日の保育でさまざまな音楽に触れることは大変重要である。それに伴い、保育者にとってピアノでの童謡や生活曲の伴奏は、必要不可欠な保育技術の一つである。本科目では、こどもと音楽Ⅰで学習したことを基に、毎日の生活の中で歌われる歌や季節や行事に関連した歌など、保育現場で使用される様々な楽曲のレパートリーをさらに増やすことを目指す。楽曲は弾き歌いで演奏できることを最終目標とする。 | | |
| 授業内容 | 第1回:オリエンテーション、個人またはグループ実技指導 第2～14回:個人またはグループ実技指導 第15回:最終実技試験 | | |
| 教材にかかわる情報 | 鹿児島市立幼稚園協会編「うたとあそび」 小林美実編「こどものうた200」 その他童謡楽譜集を各自で用意する。 | | |
| 評価にかかわる情報 | 平常点:3割、実技試験:7割 で評価します。 | | |
| 実務経験のある教員による実践的授業 | 中学校教諭として音楽を教えていた経験や、幼児リミックの経験をふまえた講義を行う | | |

| | | | |
|-------------------|--|-----|---------|
| 授業科目 | 教育方法論 | 単位数 | 講義 2 単位 |
| 担当教員 | 岩橋法雄 | | |
| 教員略歴 | 京都大学教育学部卒業。京都大学大学院教育学研究科博士後期課程単位取得満期退学（教育学専攻）。京都大学教育学部助手、甲子園短期大学講師、兵庫女子短期大学助教等を経て、1998年、鹿児島大学医学部保健学科教授。2006年、琉球大学法文学部教授。現在、鹿児島大学名誉教授及び琉球大学名誉教授。 | | |
| 授業目標 | 教育方法の定義、意義、守備範囲の概念についての基本的知識を習得し、教育目標、教育内容、評価との関係性についての理解を深めるとともに、教育(保育)現場における様々な課題を解決する教育(保育)方法とその活用についての理解を深め、保育者として必要な資質を培うことを目標とする。 | | |
| 授業内容 | <ol style="list-style-type: none"> 1 教育方法の定義・意義と守備範囲 2 教育方法の歴史的展開①(西欧の教育方法) 3 教育方法の歴史的展開②(近・現代の教育方法) 4 教育方法の歴史的展開③(日本の教育方法) 5 教育技術の革新と情報機器の活用 6 教材・教具の理解と活用 7 特色ある授業実践 8 教育現場における授業技術 9 授業分析と授業評価 10 授業展開の構想 11 幼児の理解と幼児教育の方法 12 近代以降の幼児教育方法 13 幼稚園教育要領と幼保連携型認定こども園教育・保育要領 14 幼児教育内容と小学校の教育内容 15 教育方法の課題と展望 | | |
| 教材にかかわる情報 | 「教育方法論」(配本テキスト) 「幼稚園教育要領解説」(フレーベル館)、「保育所保育指針解説」(フレーベル館)、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」(フレーベル館) | | |
| 評価にかかわる情報 | | | |
| 実務経験のある教員による実践的授業 | | | |

| | | | |
|-------------------|--|-----|---------|
| 授業科目 | 教育相談 | 単位数 | 講義 2 単位 |
| 担当教員 | 山下 みどり | | |
| 教員略歴 | 鹿児島純心女子大学大学院人間科学研究科 修了(心理臨床学) 文部科学省派遣事業鹿児島県スクールカウンセラー、日置市子ども支援カウンセラー 鹿児島純心女子短期大学非常勤講師(心と健康、心理学) 臨床心理士、上級カウンセラー、ガイダンスカウンセラー、構成的グループエンカウンター公認リーダー | | |
| 授業目標 | 子どもを理解するために、乳幼児の発達及び学び並びにその過程で生じるつまずき、その要因を把握するための原理についてまなびます。また、その対応の一つの幼児教育現場における相談支援を学び、子どもが自己理解を深め、好ましい人間関係を築き、集団の中で適応的に生活する力を育むことを支援できることを目指します。そのために、個性の伸長や人格の成長を支援する教育活動の在り方について、子どもの発達の状況の即した支援ができるように、心理的特質や教育的課題をとらえる力を身に付けるとともに、本人またはその親や保育者などに助言、指導そして場合によってはカウンセリングを行えるようになることを目指します。この授業では、よりよい教育の方向を求めて指導助言ができる基礎理論と実際について学びます。 | | |
| 授業内容 | 1. 子どもの実態に応じた発達や学びの把握 2. 相談支援の基本 3. 子どもを理解する視点① 4. 子どもを理解する視点② 5. 子どもを理解する方法① 6. 子どもを理解する方法② 7. 子どもを理解する方法③ 8. 子どもの自己理解を進める技法 9. 幼児・子ども理解とカウンセリングマインド 10. 幼稚園・保育園における園児への心理的援助及びその保護者との相談支援 11. 小学校における児童への心理的援助及びその保護者との相談支援 12. 相談支援の実際① 13. 相談支援の実際② 14. 相談支援と家庭・学校・地域との連携と相談支援 15. 相談支援の課題と対応 | | |
| 教材にかかわる情報 | 「幼稚園教育要領解説」「保育所保育士指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 「子どもの理解と相談支援(教育相談)」豊岡短期大学配本テキスト | | |
| 評価にかかわる情報 | 学習状況:レポート課題において専門知識の理解、獲得及び思考表現により評価 | | |
| 実務経験のある教員による実践的授業 | 臨床心理士として長年、学校現場でスクールカウンセラーとして心理相談業務に携わっている豊富な経験をふまえた講義を行う | | |

| 授業科目 | 教育実習事前事後指導 | 単位数 | 演習1単位 |
|-------------------|---|-----|-------|
| 担当教員 | 河内優子 | | |
| 教員略歴 | 鹿児島短期大学児童教育学科卒業 錦ヶ丘幼稚園、つばき幼稚園教諭を経て、平成30年度より神村学園専修学校こども学科非常勤講師 幼稚園教諭二種免許、小学校教諭二種免許、保育士 | | |
| 授業目標 | 実習に向けて、学習の意義・目的を理解し、保育について知識・技能・態度などを総合的に学ぶ。 | | |
| 授業内容 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 幼稚園教育の特徴 2. 保育者としての倫理 3. 実習生としての心構え 4. 事前相談、打ち合わせ 5. 長期指導計画、短期指導計画 6. 子どもを取り巻く環境 7. 幼児理解と保育 8. 保護者理解と支援 9. 特別な支援を要する子どもへの対応 10. 手遊び、読み聞かせ 11. 指導案とは何か 12. 指導案作成の実際 13. 幼児理解と学び 14. 保育者の活動からの学び 15. 実習の総括と評価、課題の明確化 | | |
| 教材にかかわる情報 | 「幼稚園教育要領解説」「保育所保育士指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 「教職事前事後指導」豊岡短期大学配本テキスト豊岡短期大学配本テキスト | | |
| 評価にかかわる情報 | | | |
| 実務経験のある教員による実践的授業 | 幼稚園教諭として子どもたちの教育に携わってきた豊富な経験をふまえて教育実習に向けた指導および実習事後指導を行う | | |